

手順編

0. 施工前の準備	▶34
1. 排水ソケット・給水管・止水栓(床給水床排水)	▶36
2. ブラケット	▶37
3. 間口調整フィラー・サイドキャビネット・手洗器キャビネット	▶38
4. 給水管・止水栓	▶51
5. 紙巻器キャビネット	▶52
6. サイドキャビネット・間口調整フィラー	▶53
7. カウンター	▶57
8. ビルトインリモコン	▶67
9. アクセントパネル	▶68
10. 手洗器・水栓金具	▶75
11. フレキホース・コントローラー・電気温水器	▶80
12. 排水トラップ	▶86
13. 紙巻器	▶88
14. 試運転・確認	▶91
15. カバー(配管)	▶100
16. ラベル	▶101
17. シリコン系 シール材	▶102
18. ビルトインリモコンの 設定	▶103
19. 照明付化粧鏡	▶106

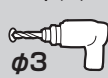
マーク表示について

手締めで



電動ドライバー
使用禁止です。
手締めしてください。

下穴



下穴をあけてください。
(例: $\phi 3$ の場合)

けがき



けがき



けがきを
してください。

カット



カットしてください。

シール



シールテープを
巻いてください。

水平確認



垂直確認

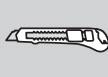


水平器で水平・垂直
確認してください。

カット



カット



測定



測定してください。

塗布



塩ビ用接着剤を
塗ってください。

ホルソー



穴をあけてください。
(例: $\phi 35 \sim 40$ の場合)

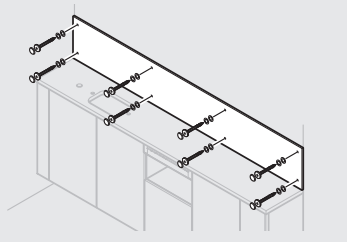
$\phi 35 \sim 40$

9. アクセントパネル

アクセントパネルなしの場合は P.75 へ

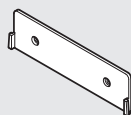
ハンドル式水栓・自動水栓
手洗器なしの場合

2 アクセントパネルの取り付け



▶ P.70

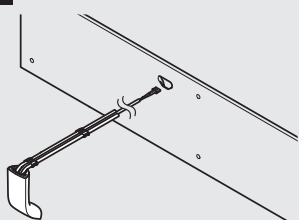
3 リモコンハンガーの取り付け



▶ P.74

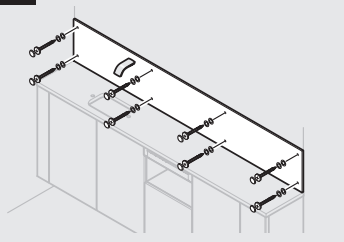
タッチレスウォール水栓の場合

1 水栓金具の取り付け



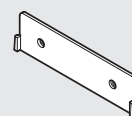
▶ P.69

2 アクセントパネルの取り付け



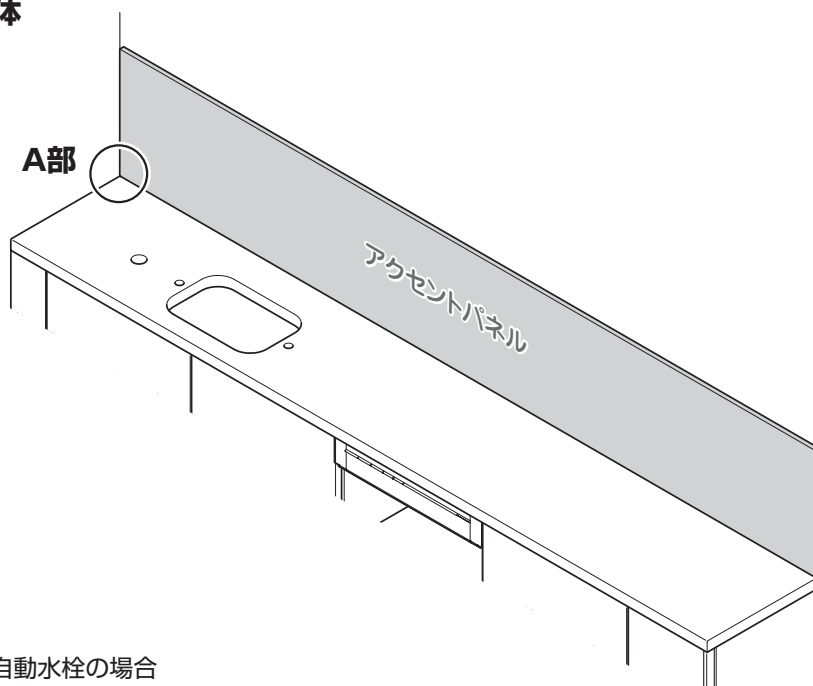
▶ P.70

3 リモコンハンガーの取り付け



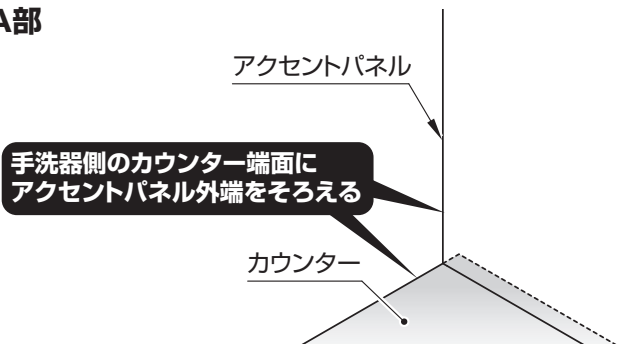
▶ P.74

完成イメージ① 全体

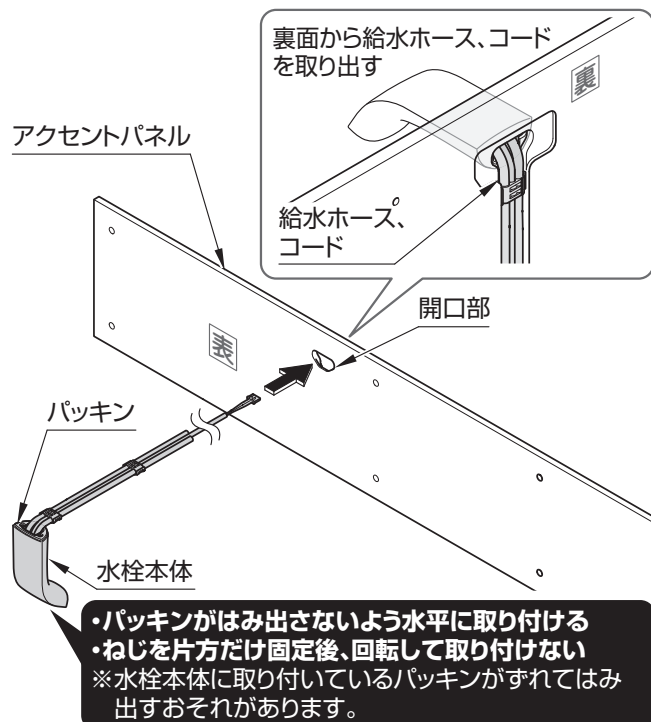


※図はハンドル式水栓・自動水栓の場合

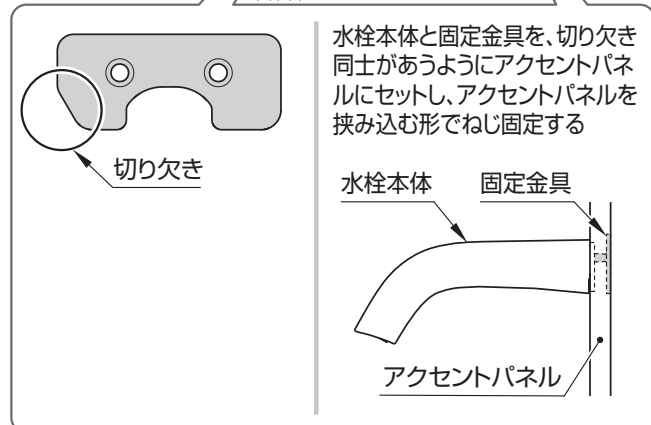
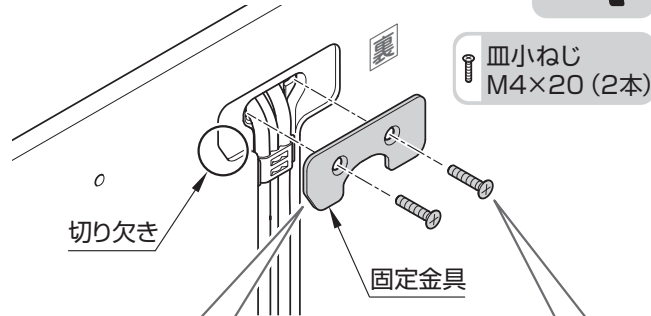
完成イメージ② A部



タッチレスウォール水栓の場合

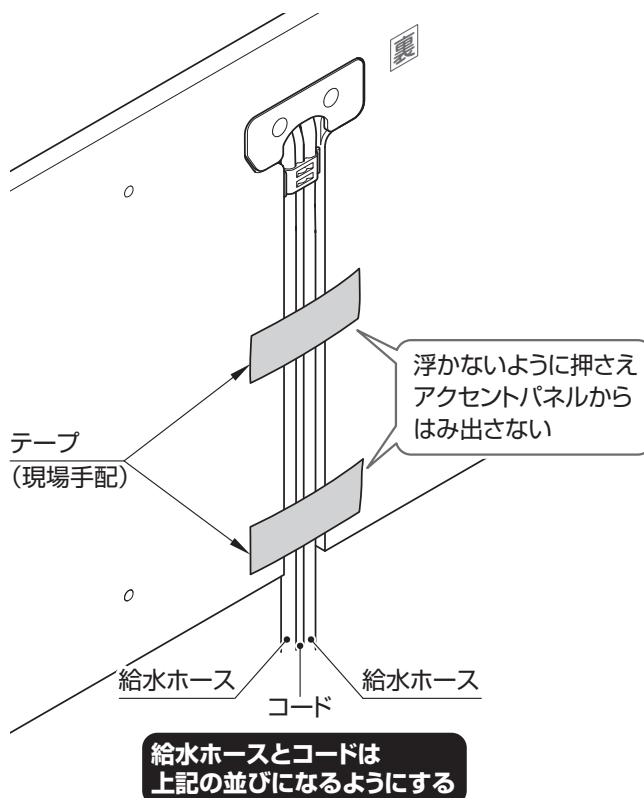
タッチレスウォール水栓以外
の場合…P.70 **2**へ**1** 水栓金具の取り付け**1** アクセントパネル表面から、開口部に水栓の給水
ホース、コードを挿入する**2** アクセントパネルと固定金具の切り欠き同士があうようにセットし、ねじで固定する同梱の六角棒レンチは
メンテナンス用です。
必ずお客様にお渡しください。

手締めで

**3** アクセントパネル裏面にテープをはる**! 注意**

必ず守る

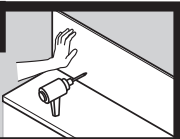
- ・水栓を持たない
 - ・給水ホースを挟み込まないように注意する
- 給水ホースに傷がついて水漏れしたり、アクセントパネルや水栓が破損するおそれがあります。

水栓の両側の
パネルを持つ

2 アクセントパネルの取り付け

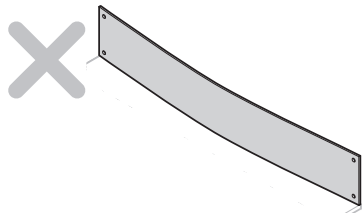
アクセントパネル固定のご注意

手で押さえながら固定してください。



アクセントパネルを両端から固定しない

アクセントパネルを両端から固定すると真ん中がたわむおそれがあります。



ハンドル式水栓・自動水栓/手洗器なしの場合

- ① 左勝手の場合は、カウンター左端面にアクセントパネル左端面をあわせる
右勝手の場合は、カウンター右端面にアクセントパネル右端面をあわせる

※図は左勝手の場合

◀カウンター端面



② アクセントパネルを固定する

※固定方法の詳細は右記参照

ねじは①から⑧の順番で固定する

ねじ①はAの手順

ねじ②～⑧はBの手順



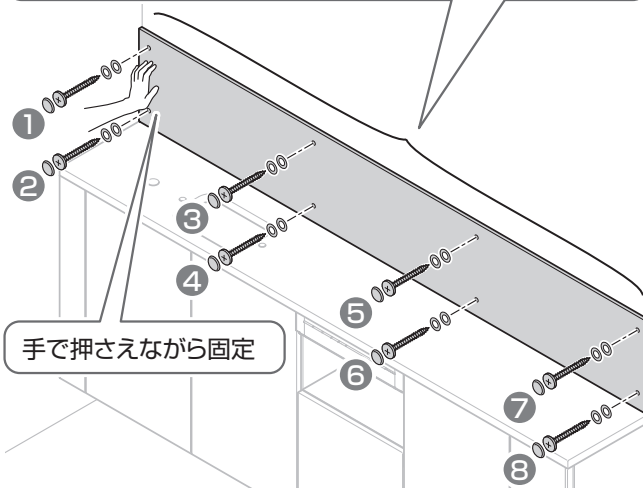
低頭タッピンねじ
4×50(8本)



平座金(24個)
※調節用含む
詳細は右記参照



キャップ
(8個)



手で押さえながら固定

※図は左勝手の場合。右勝手の場合は左右反転。

A. ① ねじの段差調整と固定方法

A-① ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

下穴



アクセントパネル

アクセントパネル表面▷



A-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、手締めで切り替える

この状態から手締め

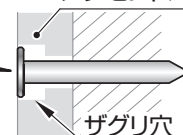
手締めで



アクセントパネル

ザグリ穴

アクセントパネル表面▷

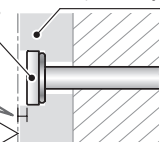


A-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、キャップとアクセントパネルとの間に段差があるか確認する

キャップ

段差

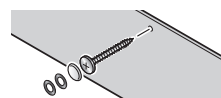
アクセントパネル表面▷



A-④ 段差がある場合は、段差調整用の平座金を段差に押し当てて、段差を最小にするために必要な枚数を確認する

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも飛び出さないように注意する

※段差がない場合は、平座金は不要です。



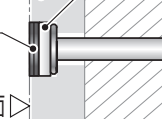
段差確認時の取付順番
※固定時の取付順番と異なります。

アクセントパネル

キャップ

平座金

アクセントパネル表面▷



A-⑤ 一度ねじを抜く

平座金

キャップ

アクセントパネル

アクセントパネル表面▷



A-⑥ A-④で確認した平座金の枚数をねじにセットしてからA-①、A-②の手順でねじを固定し、キャップを取り付ける

※キャップを外す際はテープを使用すると簡単に外せます。

アクセントパネル

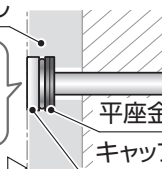
段差最小

※キャップがアクセントパネルから飛び出さないこと

アクセントパネル表面▷

平座金

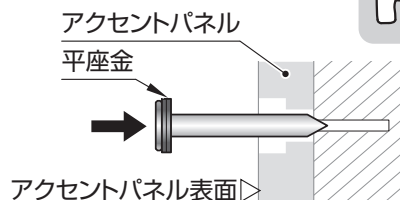
キャップ



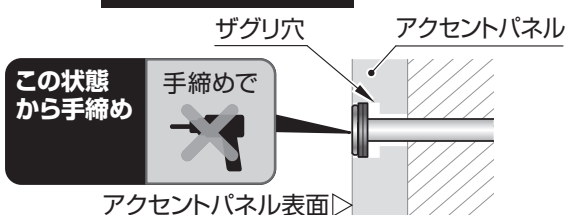
B. ②～⑧ ねじの段差調整と固定方法

B-① ① ねじで使した平座金と同じ枚数を セットし、ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

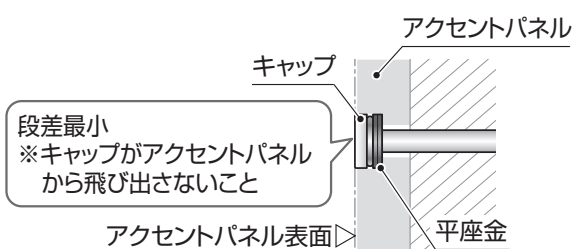


B-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、 手締めで切り替える



B-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、 キャップとアクセントパネルとの間に段差 があるか確認する 段差がある場合は、A-③④⑤⑥の手順で 段差を最小にする

**平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも
飛び出さないように注意する**

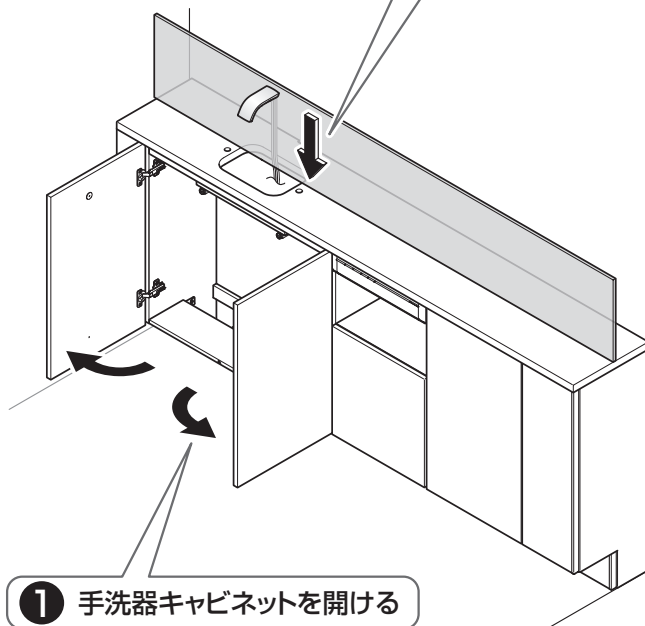


MEMO

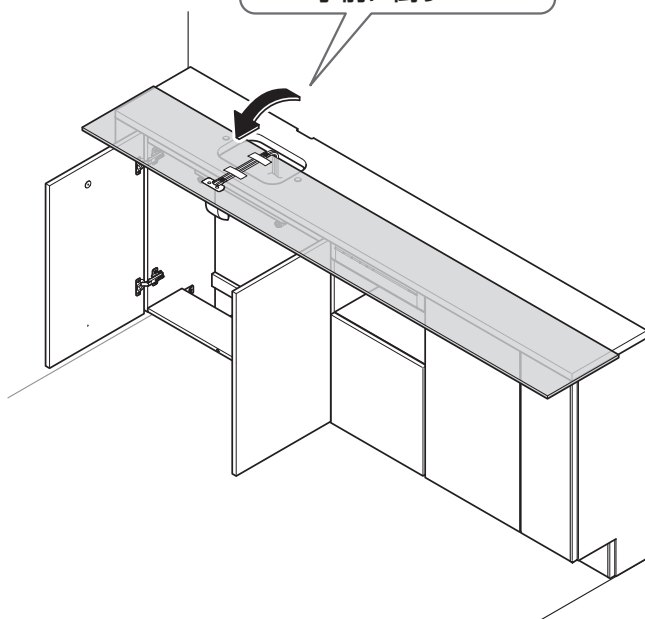
タッチレスウォール水栓の場合 ※図はベッセルタイプ(角形)の場合

カウンターの表面が傷つかないように養生すること

② アクセントパネルをカウンターの上に置く
給水ホースとコードは手洗器の開口部を通しておく



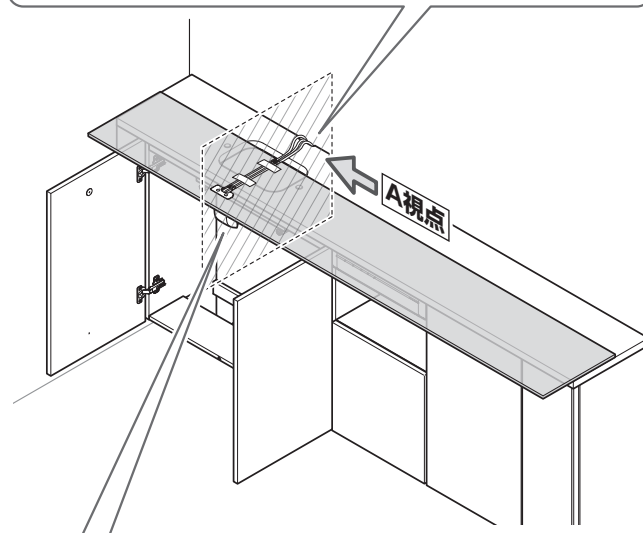
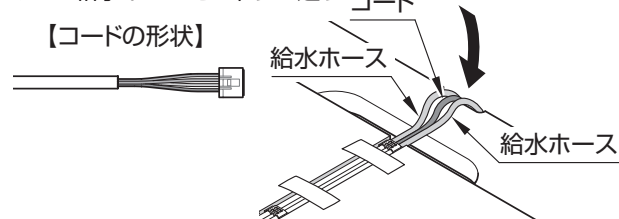
③ アクセントパネルを
手前に倒す



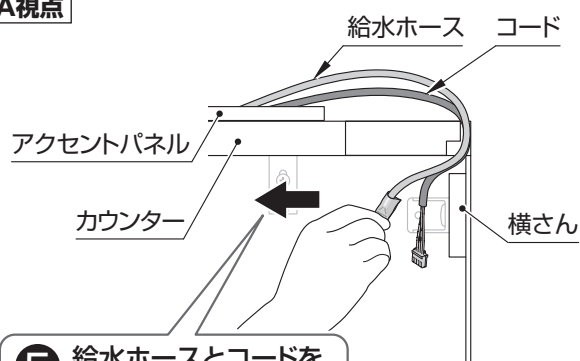
④ 給水ホースとコードを切り欠きに通す

給水ホースとコードが重ならないように、コードを先に入れた
あとに給水ホースを1本ずつ通す

【コードの形状】



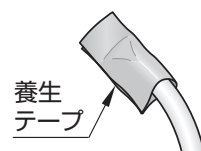
A視点



⑤ 給水ホースとコードを
下から指で引き出す

※切り欠きの形状はカウンター材質によって異なります。

給水ホース先端を
はみ出るように養生テープを
はり付けると作業しやすくなります。



- ⑥** 左勝手の場合は、カウンター左端面にアクセントパネル左端面をあわせる
右勝手の場合は、カウンター右端面にアクセントパネル右端面をあわせる

※図は左勝手の場合



水栓を持って位置調整をしない
水栓が破損するおそれがあります。

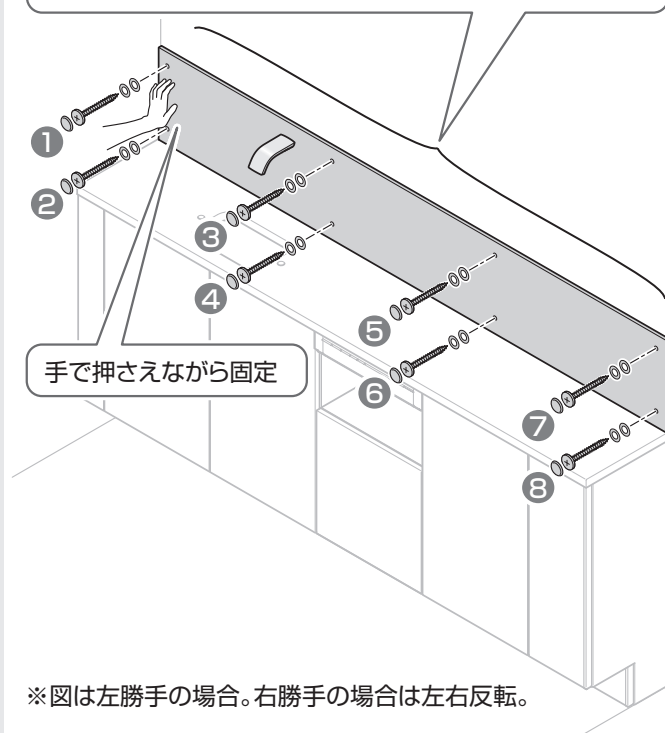
⑦ アクセントパネルを固定する

※固定方法の詳細は右記参照

ねじは ① から ⑧ の順番で固定する

ねじ ① は A の手順

ねじ ② ～ ⑧ は B の手順

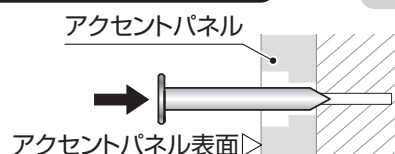


※図は左勝手の場合。右勝手の場合は左右反転。

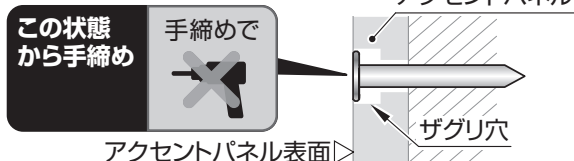
A. ① ねじの段差調整と固定方法

A-① ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。



A-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、手締めで切り替える



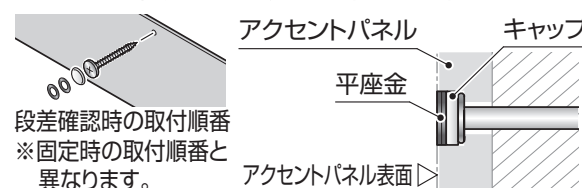
A-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、キャップとアクセントパネルとの間に段差があるか確認する



A-④ 段差がある場合は、段差調整用の平座金を段差に押し当てて、段差を最小にするために必要な枚数を確認する

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも飛び出さないように注意する

※段差がない場合は、平座金は不要です。

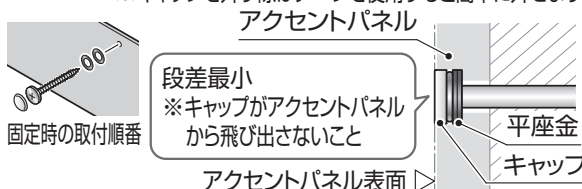


A-⑤ 一度ねじを抜く



A-⑥ A-④で確認した平座金の枚数をねじにセットしてからA-①、A-②の手順でねじを固定し、キャップを取り付ける

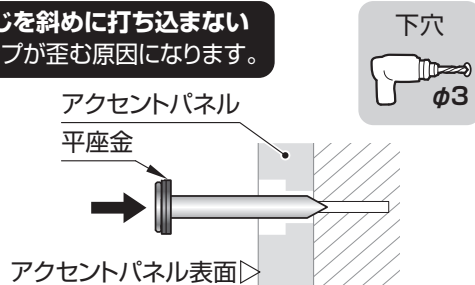
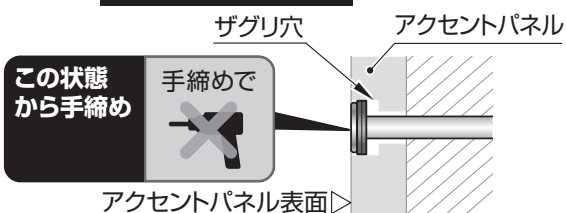
※キャップを外す際はテープを使用すると簡単に外せます。



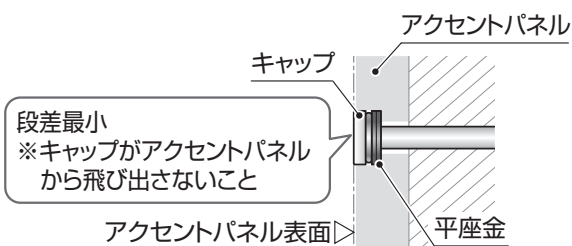
B. ②～⑧ ねじの段差調整と固定方法

B-① ① ねじで使用した平座金と同じ枚数を
セットし、ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

B-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、
手締めで切り替えるB-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、
キャップとアクセントパネルとの間に段差
があるか確認する
段差がある場合は、A-③④⑤⑥の手順で
段差を最小にする

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも
飛び出さないように注意する



3 リモコンハンガーの取り付け

① リモコンハンガーを取り付ける

参照 リモコンハンガーの取り付け：
ウォシュレットの施工説明書

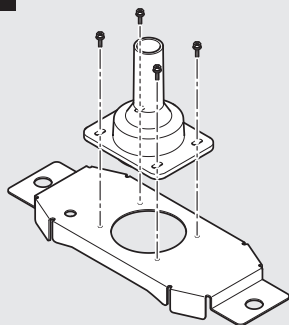
- アクセントパネル本体内部にリモコン本体が収まるよう設置する
- アクセントパネル固定ねじに干渉しないよう設置する
アクセントパネルをまたぐようにリモコン本体を設置すると、リモコン本体が外れるおそれがあります。

MEMO

10.手洗器・水栓金具

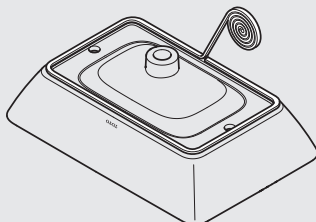
手洗器なしの場合はP.88へ

1 排水ソケットの組み付け



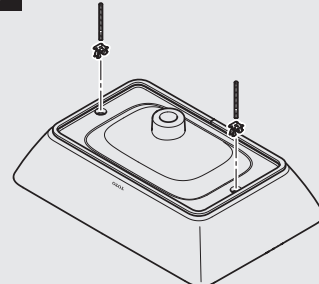
▶P.76

2 クッション材のはり付け



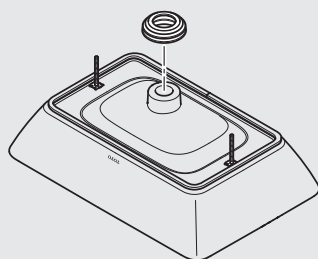
▶P.76

3 手洗器の組み立て



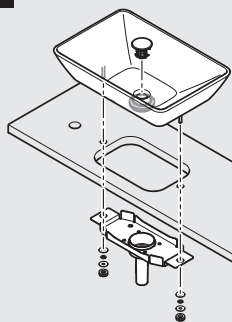
▶P.77

4 パッキン(排水口)の取り付け



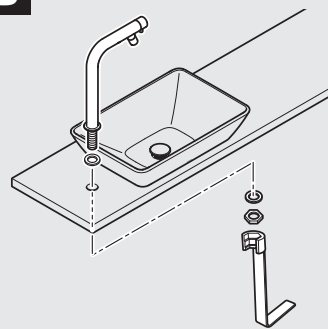
▶P.77

5 手洗器の取り付け



▶P.78

6 水栓金具の取り付け

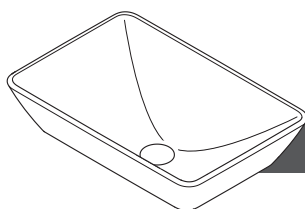


▶P.79

手洗器の種類と、手順を確認して施工してください。

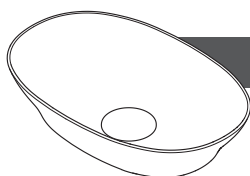
※手洗器の種類で手順が異なります。

手洗器、各手順について



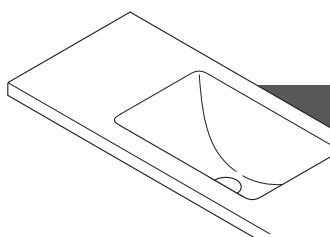
ベッセルタイプ(角形)の場合

1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6



ベッセルタイプ(丸形)の場合

2 ▶ 3 ▶ 5 ▶ 6



ボウル一体タイプの場合

5 ▶ 6

1 排水ソケットの組み付け

ベッセルタイプ(角形)の場合

注意



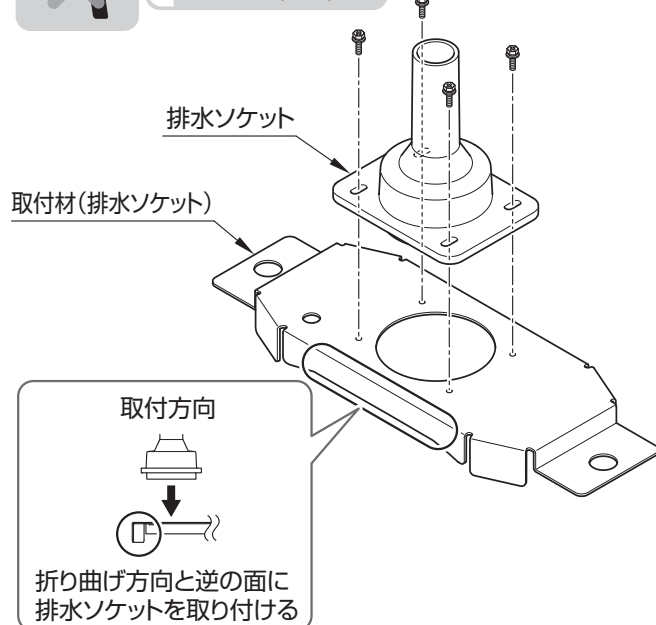
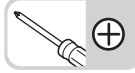
必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材(排水ソケット)の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

手締めで



十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12(4本)



2 クッション材のはり付け

1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

2 クッション材の剥離紙をはがしながら、
下記の位置にクッション材をはり付ける

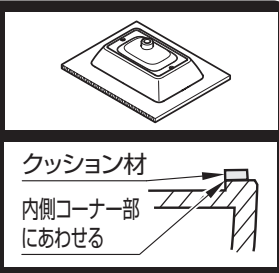
注意



必ず守る

クッション材のはり付けは確実に行う
水などが浸入してコンセントにかかり、
火災や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、
段ボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないように
してください。
- ・手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ
出すことがあります。



ベッセルタイプ(角形)の場合



ベッセルタイプ(丸形)の場合



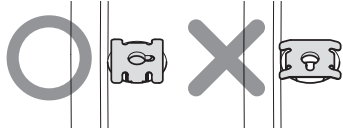
MEMO

3 手洗器の組み立て

ベッセルタイプ(角形)の場合

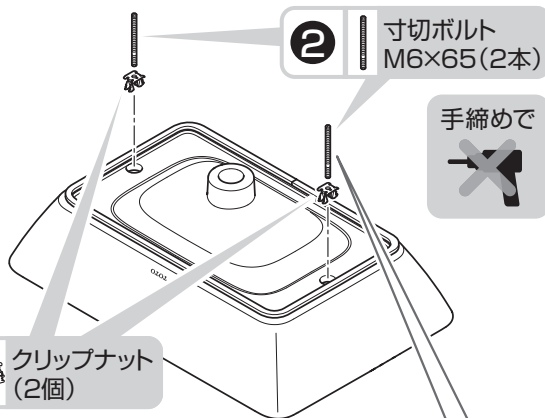
・平らな面にクリップナットを取り付ける

クリップナットが奥まで入らず、手洗器に適合しません。

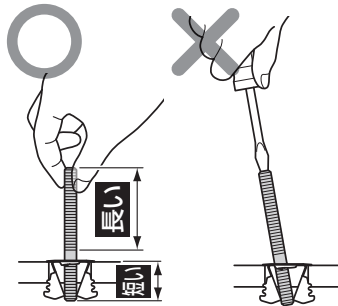


・陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

寸切ボルトが途中までしか入らず、手洗器が固定できません。



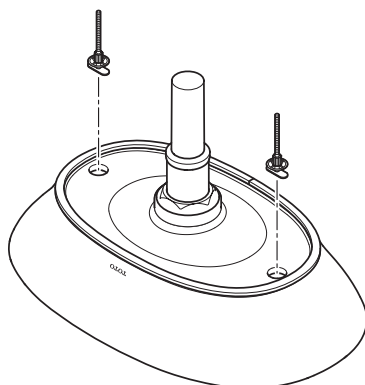
- ・ボルトをドライバーで深く締めない
ボルトが斜めに入り、陶器がカウンターにおさまらないことがあります。
- ・斜めに入ったねじを無理に真っすぐにしない



軽く、手でつまんで、入るまで締める

ベッセルタイプ(丸形)の場合

参照 手洗器組立手順:手洗器同梱の施工説明書



4 パッキン(排水口)の取り付け

ベッセルタイプ(角形)の場合

⚠ 注意



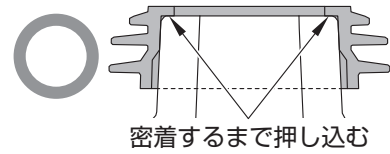
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

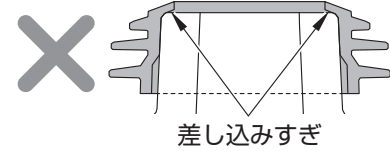


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



密着するまで押し込む



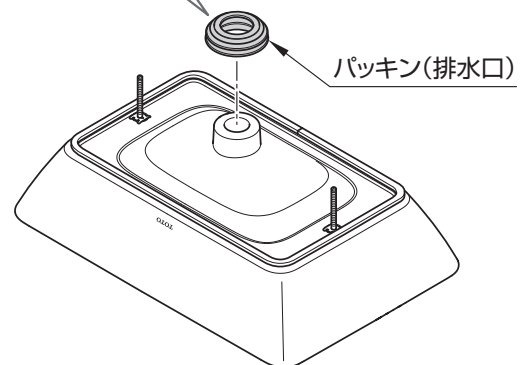
差し込みすぎ

手洗器排水口外周の汚れを取り除き、装着する

排水ソケット側



手洗器排水口装着側



5 手洗器の取り付け

ベッセルタイプ(角形)の場合

⚠ 注意

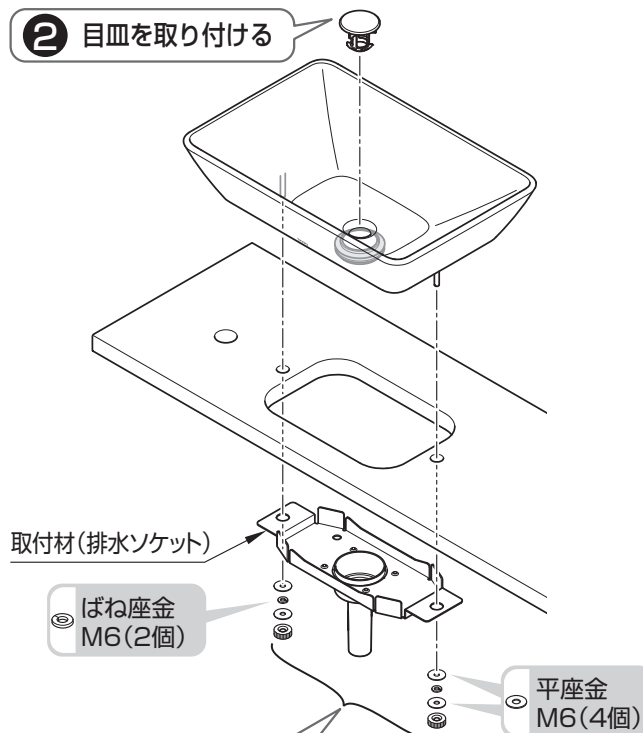


必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

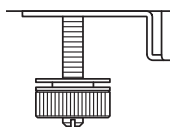
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

② 目皿を取り付ける



① ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

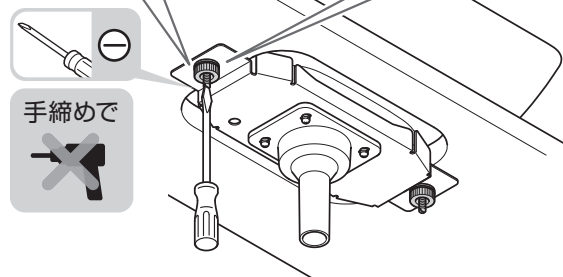
ローレットナット
M6(2個)



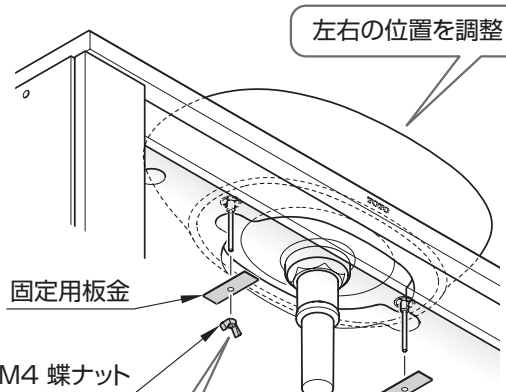
- ・ボルトができるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

③ しっかりボルトを締め込む ※締め付け時、陶器との摩擦音が鳴ることがあります。

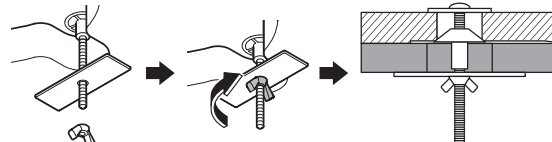
④ ローレットナットを しっかり締め付ける



ベッセルタイプ(丸形)の場合

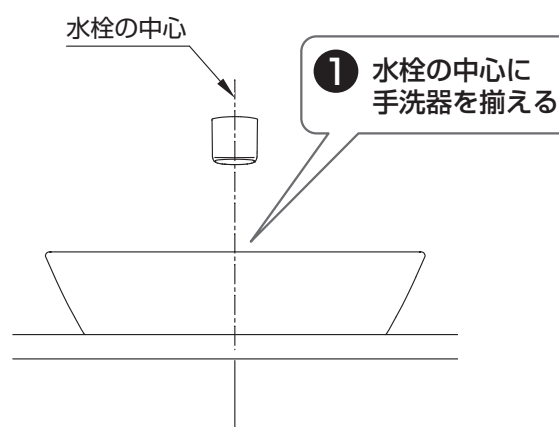


取付ボルト2カ所へ固定用板金を当て、蝶ナットで締め付けてください



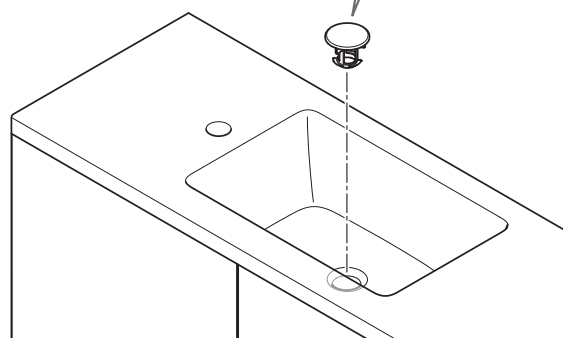
タッチレスウォール水栓の場合

※図はベッセルタイプ(角形)の場合



ボウル一体タイプの場合

① 目皿を取り付ける

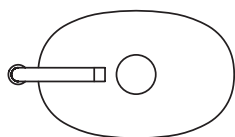


6 水栓金具の取り付け

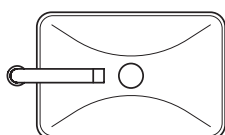
吐水口の向き

※図はハンドル式水栓の場合

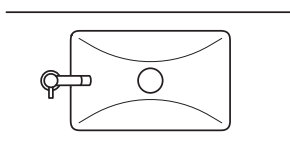
【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



【ボウラー一体タイプ】



自動水栓の場合

参照 水栓金具の取り付け：
自動水栓の施工説明書



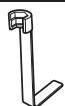
タッチレスウォール水栓の場合

タッチレスウォール水栓の場合
▶P.69 参照

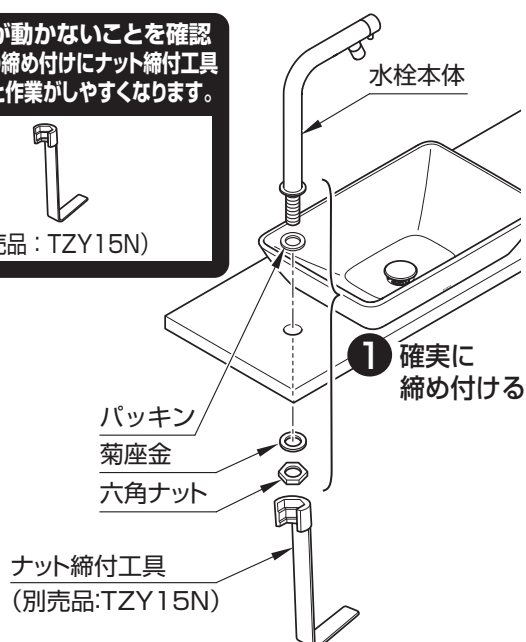


ハンドル式水栓の場合

・水栓本体が動かないことを確認
・六角ナットの締め付けにナット締付工具
を使用すると作業がしやすくなります。



(別売品：TZY15N)



MEMO

11.フレキホース・コントローラー・電気温水器

手洗器なしの場合は
P.88へ

ハンドル式水栓の場合

1 フレキホースの 取り付け

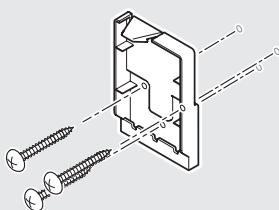


▶P.80 壁給水

▶P.81 床給水

自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合

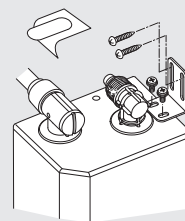
2 コントローラー・機能部・スパウト連結ホースの 取り付け



▶P.82 壁給水/床給水

自動水栓・タッチレスウォール水栓
(電気温水器付)の場合

3 電気温水器の取り付け



▶P.85

1 フレキホースの取り付け

ハンドル式水栓の場合(壁給水)

⚠ 注意



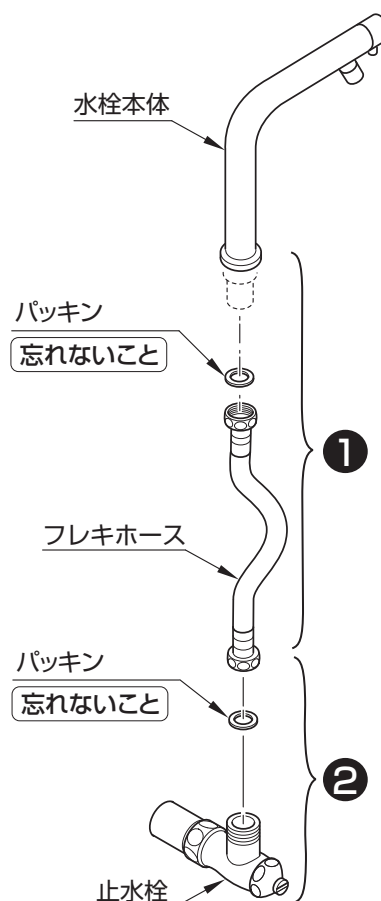
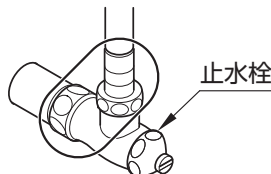
必ず守る

フレキホースは折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

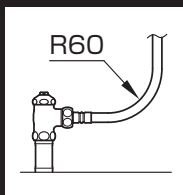
- ・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する
フレキホースの最小曲げ半径は 60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。
- ・給水管の各接続部は増し締めする

水漏れを確認



ハンドル式水栓の場合(床給水)

- ・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する
フレキホースの最小曲げ半径は 60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。



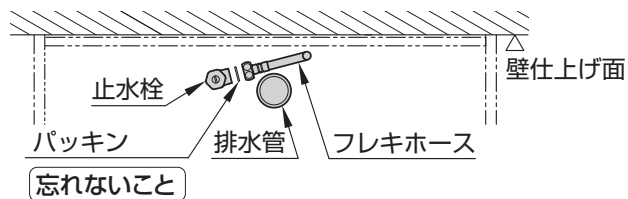
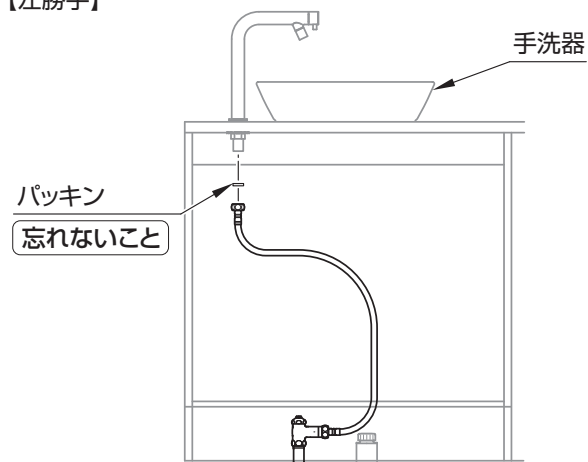
- ・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。
- ・給水管の各接続部は増し締めする



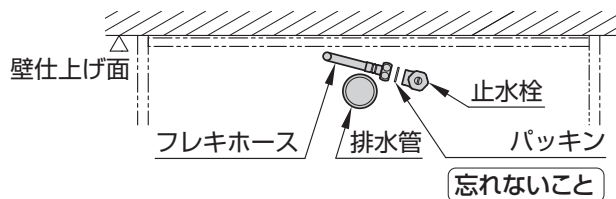
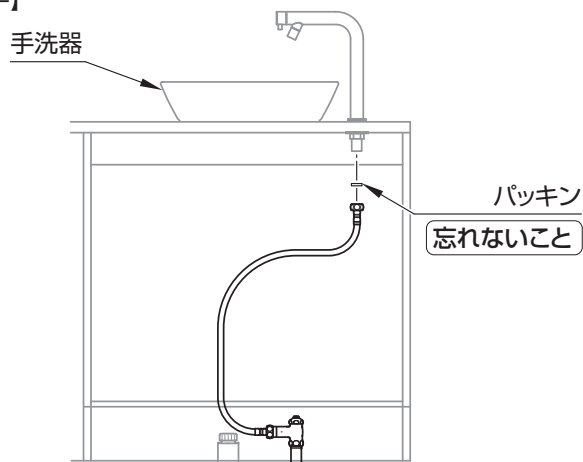
ベッセルタイプ(丸形)、ベッセルタイプ(角形)、ポウルー体タイプとも共通です。

※図はベッセルタイプ(角形)

【左勝手】



【右勝手】



MEMO

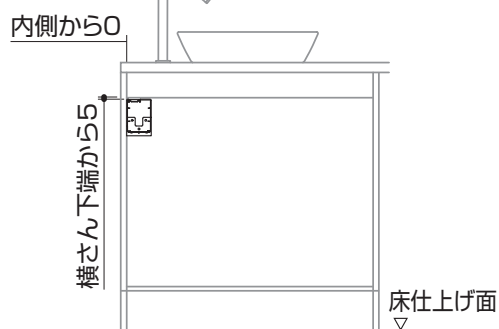
2 コントローラー・機能部・ スパウト連結ホースの取り付け

自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合

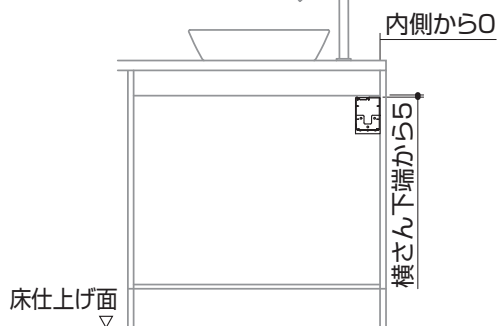
コントローラー固定材取付位置

※図は自動水栓の場合

【左勝手】



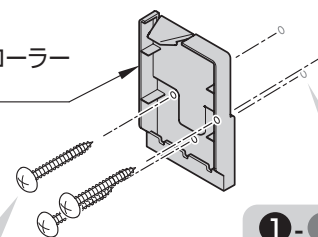
【右勝手】



壁給水の場合

1

コントローラー
固定材



1-2

十字穴付トラスタッピンねじ
4×30(3本)



1-1

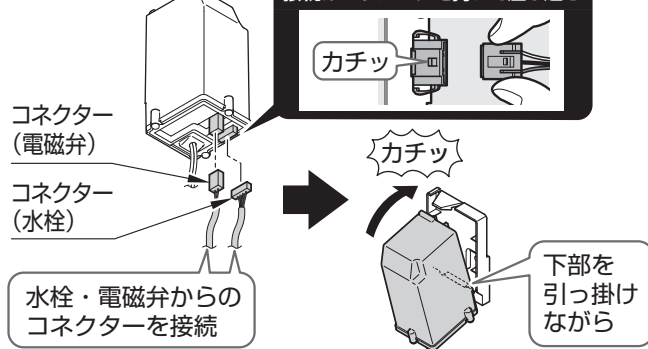
けがき → 下穴



φ3

2

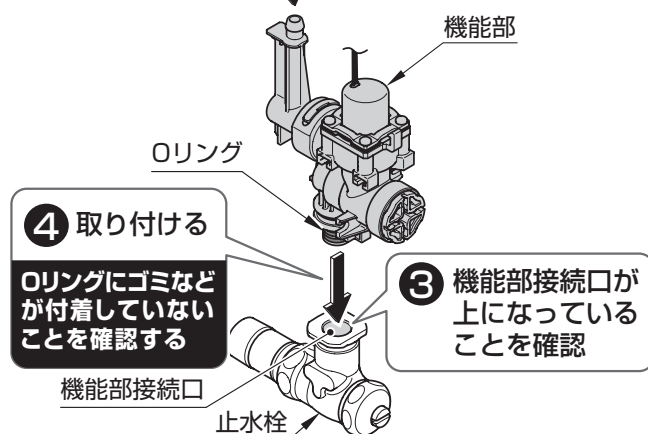
接続はハウジングを持って差し込む



スパウト連結ホース

ホースクランプ

5 スパウト連結ホース
を接続する



4 取り付ける

Oリングにゴミなどが
付着していない
ことを確認する

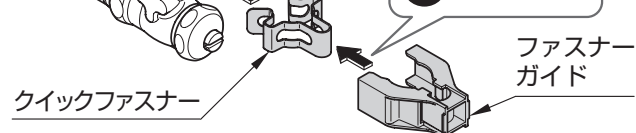
機能部接続口

止水栓

3 機能部接続口が
上になっている
ことを確認

6 固定する

7 取り付ける

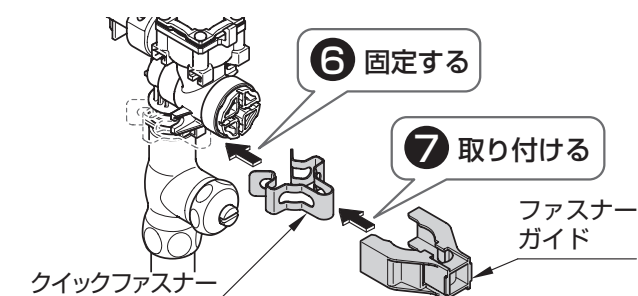
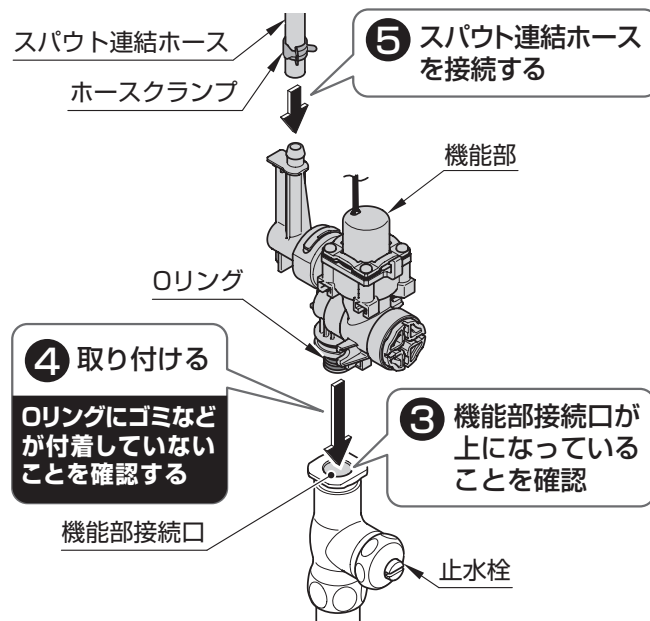
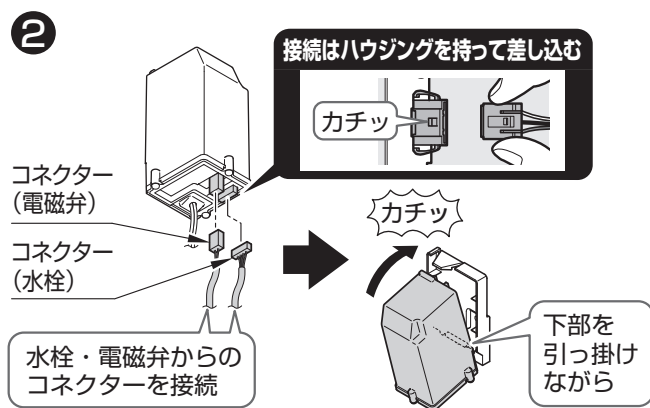
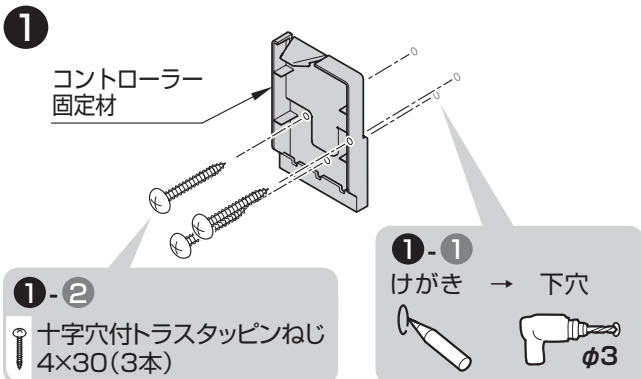


クイックファスナー

ファスナー
ガイド

自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合

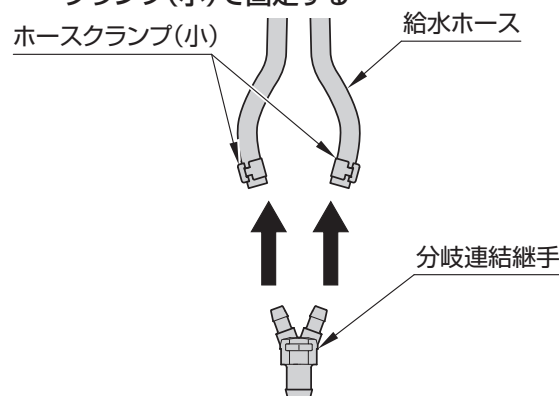
床給水の場合



自動水栓の場合・・・P.84 へ

タッチレスウォール水栓の場合

- 1** 分岐連結継手に給水ホース2本を差し込み、ホースクランプ(小)で固定する

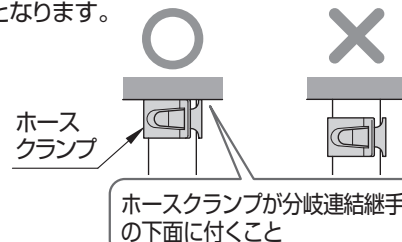


注意

スパウト連結ホースを切断する際は、カッターなどを用い、切断面が90°に垂直になるようにする。斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。



・ホースクランプは所定の位置にくるようにする
・必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

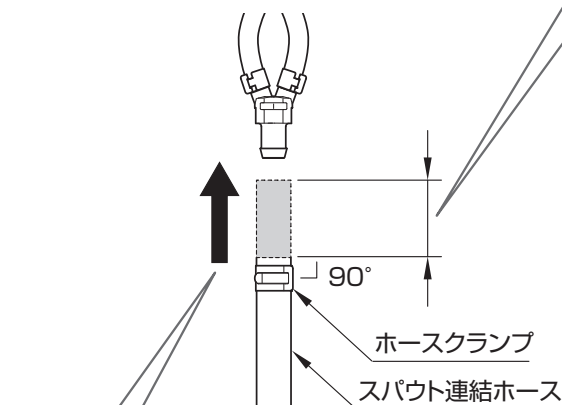


- 2** スパウト連結ホースを分岐連結継手にあうように適切な長さに切断する
※壁給水/電気温水器なしの場合は**4**参照

カット



切断後の端面の仕上げに注意すること



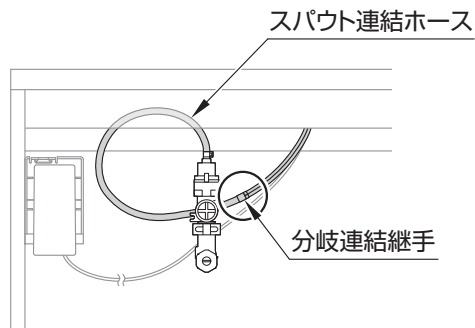
- 3** 分岐連結継手に**2**でカットしたスパウト連結ホースを差し込み、ホースクランプで固定する

タッチレスウォール水栓の場合

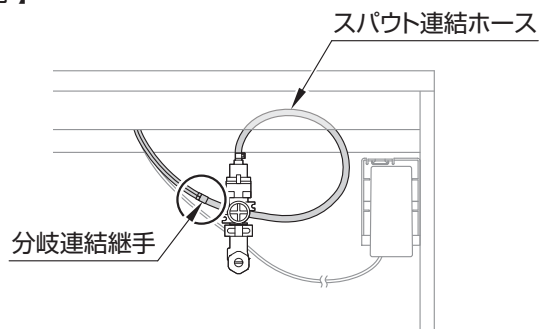
- ④ 下記条件の場合は図のようにスパウト連結ホースを取り回し、接続する

壁給水/電気温水器なしの場合

【左勝手】



【右勝手】



自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合

注意

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

スパウト連結ホース接続後、軽く引っ張り抜けないこと
斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。

クイックファスナーの
取り付けは、確実に
不完全な場合、外れて
水漏れのおそれがあります。

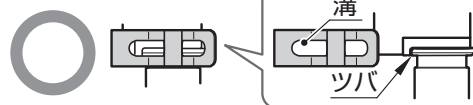


- すき間がないよう、確実に押し込む

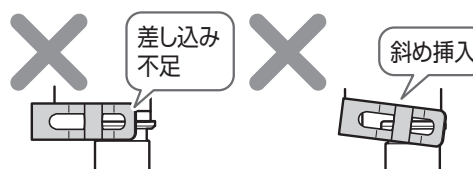


必ず守る

- クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること

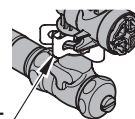


- クイックファスナー取付後は、正しく取り付いていることを目視や鏡で確認する



- クイックファスナーが確実に取り付けられているか確認する

クイックファスナー



3 電気温水器の取り付け

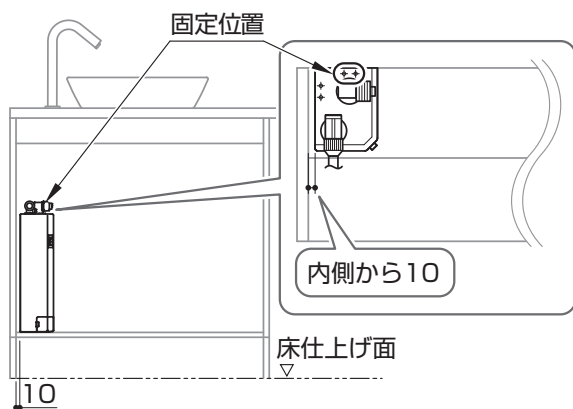
自動水栓・タッチレスウォール水栓(電気温水器付)の場合

参照 取付方法: 電気温水器の施工説明書
取付位置と機能部の接続については本書を参照してください。

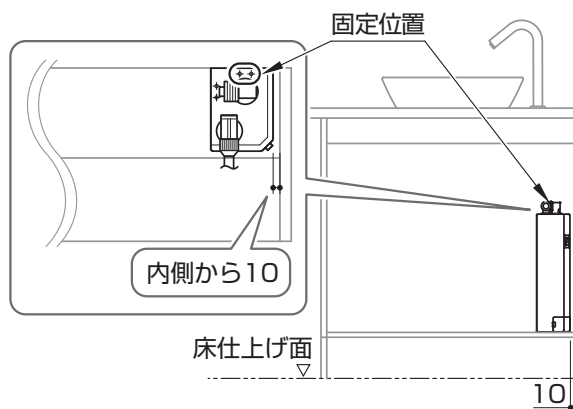
電気温水器取付位置

電気温水器が付く場合は底板を先に付けてください。(P.100参照)

【左勝手】



【右勝手】



化粧ラベル
(裏面接着剤付)

② 十字穴付なベタピンねじ
4×30(2本)

固定アングル1

固定アングルを
取り付けない穴をふさぐ

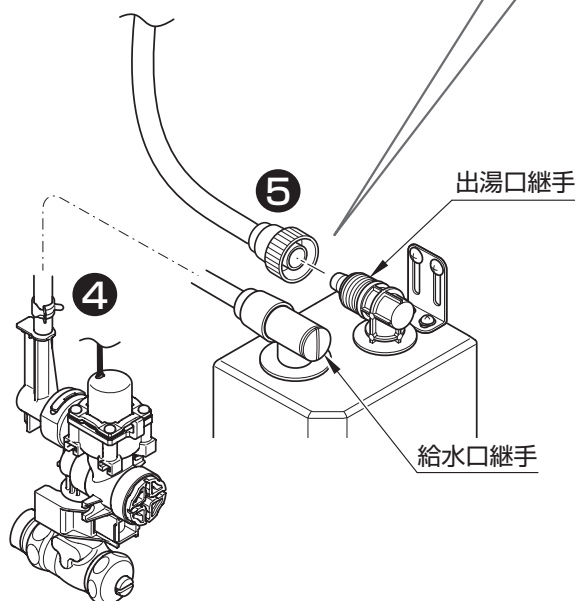
① 十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×10(2本)

⚠ 注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
 - ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

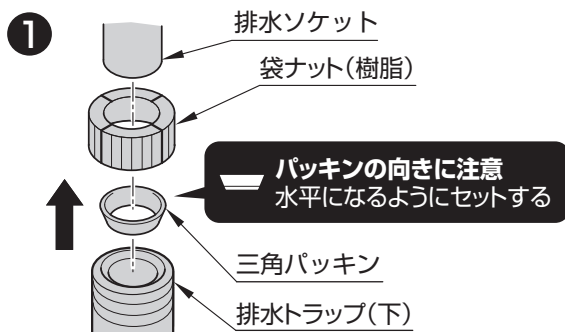


12.排水トラップ

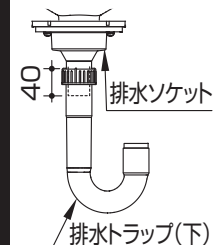
手洗器なしの場合はP.88へ

1 排水トラップの取り付け

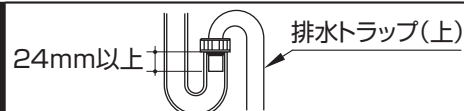
ベッセルタイプ(角形)、ボウル一体タイプの場合



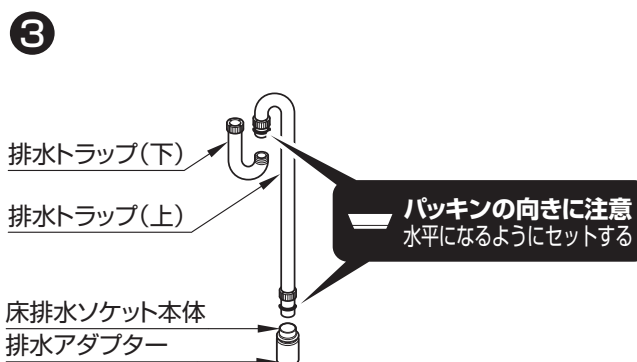
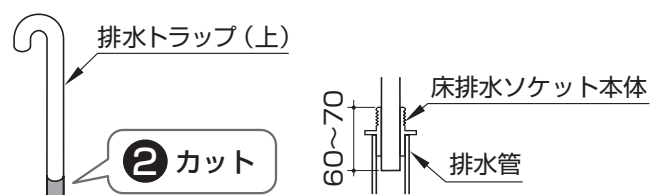
- ・排水ソケットを排水トラップ(下)の奥まで入れる
- ・各部の袋ナットは手で確実に締める
手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上締め付けるのが目安です。



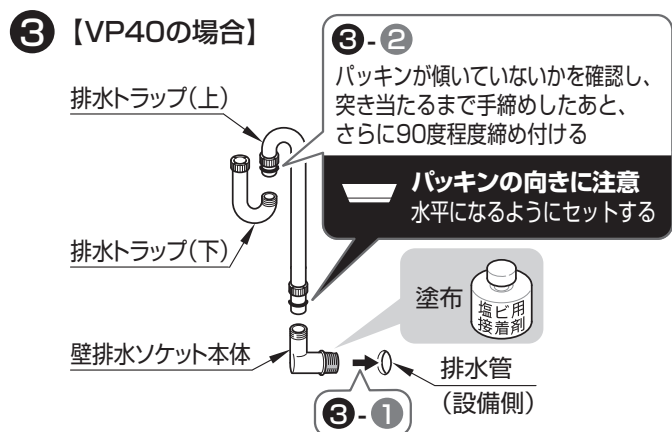
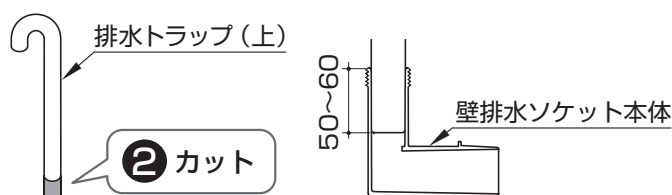
- ・排水トラップ(上)を排水トラップ(下)の奥まで入れる
- ・各部の袋ナットは手で確実に締める
手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上締め付けるのが目安です。



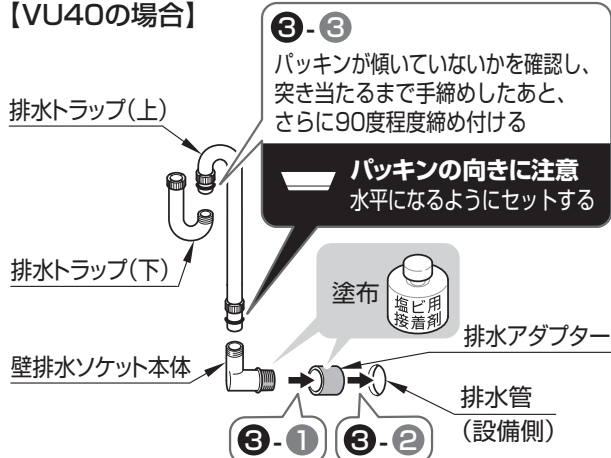
床排水の場合



壁排水の場合



【VU40の場合】

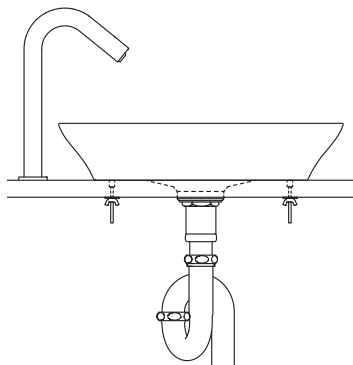
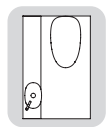


ベッセルタイプ(丸形)の場合

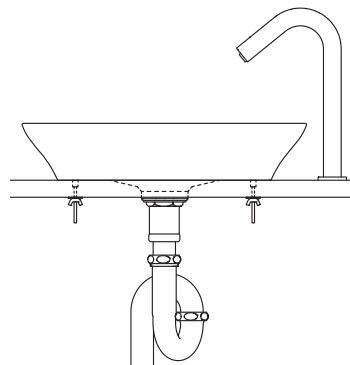
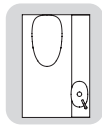
参照 排水トラップの取り付け:排水金具に同梱の施工説明書

排水管の取り回し(床排水の場合)

【左勝手】



【右勝手】

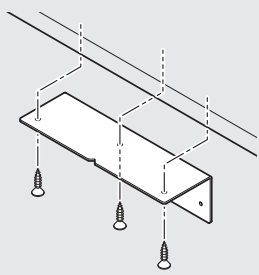


MEMO

13.紙巻器

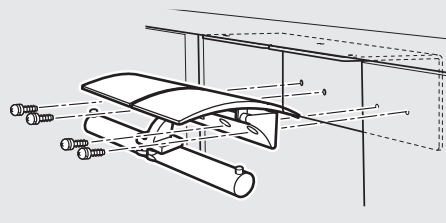
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の 取り付け



▶P.88

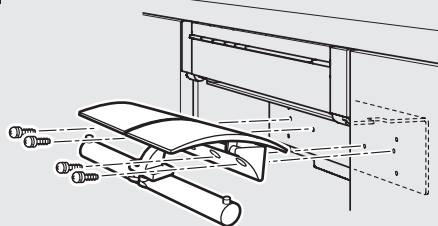
2 紙巻器の取り付け



▶P.89

ビルトインリモコンありの場合

2 紙巻器の取り付け



▶P.90

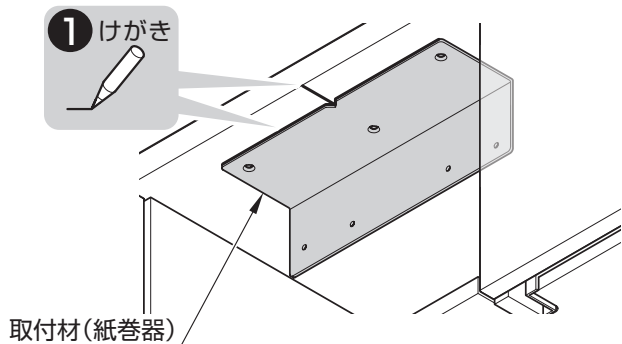
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の取り付け

メタル製紙巻器の場合

1 取付材(紙巻器)の位置出しをする

1 けがき

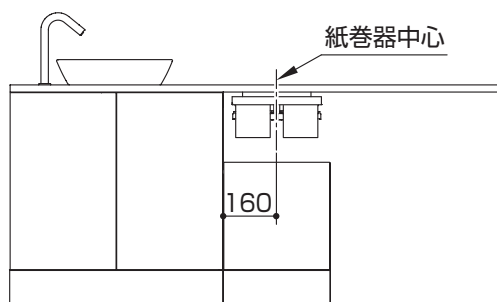


取付材(紙巻器)

【左右方向】

※サイドキャビネットがある場合
手洗器キャビネットとサイドキャビネットの中心

※サイドキャビネットがない場合

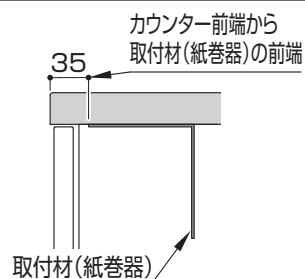


紙巻器中心

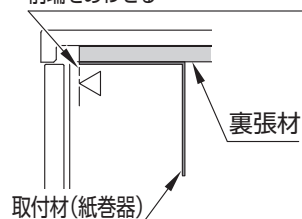
160

【前後方向】

木質製カウンター



取付材(紙巻器)

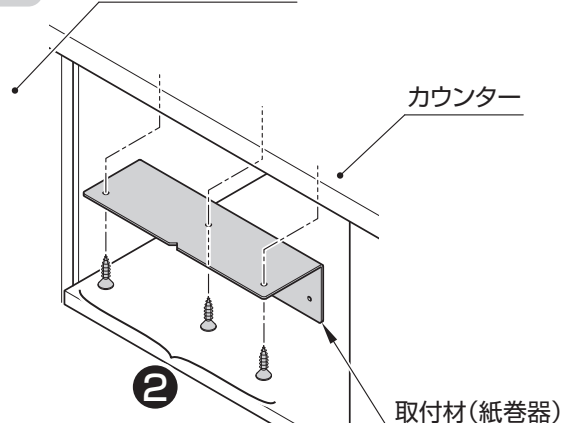
マープライトカウンター
クリスタルカウンター裏張材の前端と取付材(紙巻器)の
前端をあわせる

※図はマープライトカウンター

手締めで

十字穴付皿タッピンねじ
4×12(3本)

手洗器キャビネット



カウンター

2

取付材(紙巻器)

ビルトインリモコンなしの場合

2 紙巻器の取り付け

メタル製紙巻器の場合



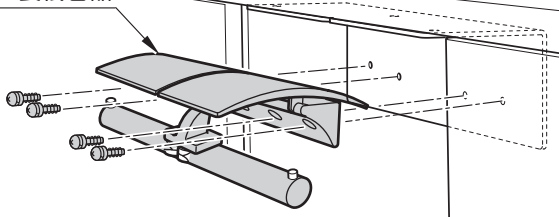
同梱の十字穴付なべタッピンねじ
4×40(4本)は使わない
取付材(紙巻器)を破損するおそれがあります。

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)

手締めで



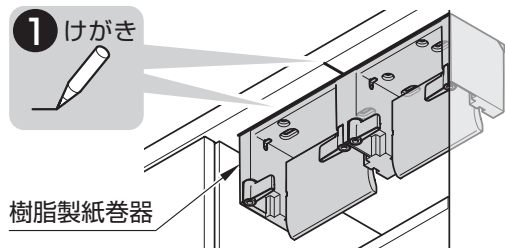
メタル製紙巻器



樹脂製紙巻器の場合

1 紙巻器の位置出しをする

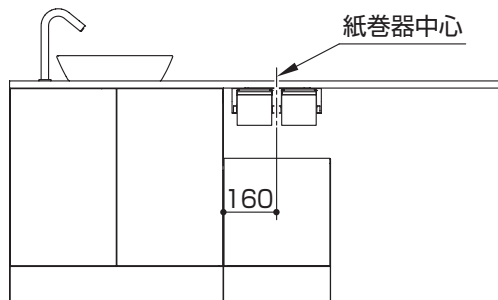
1 けがき



【左右方向】

※サイドキャビネットがある場合
手洗器キャビネットとサイドキャビネットの中心

※サイドキャビネットがない場合

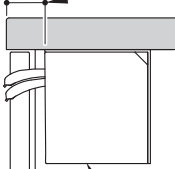


【前後方向】

木質製カウンター

カウンター前端から
樹脂製紙巻器の前端

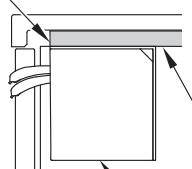
35



樹脂製紙巻器

マープライトカウンター クリスタルカウンター

裏張材の前端と樹脂製紙巻器の
前端をあわせる

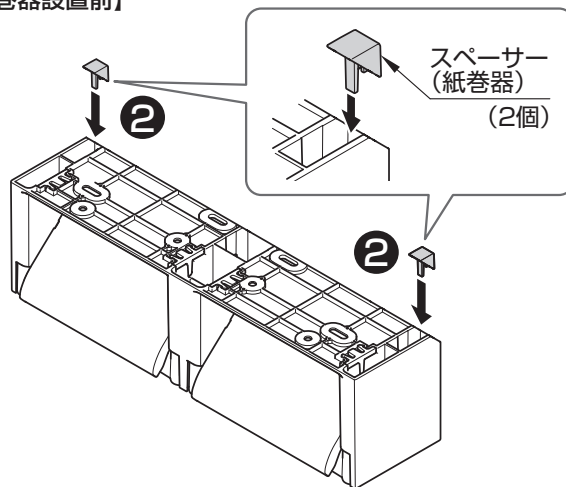


裏張材

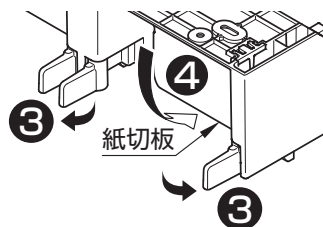
樹脂製紙巻器

※図はマープライトカウンター

【紙巻器設置前】

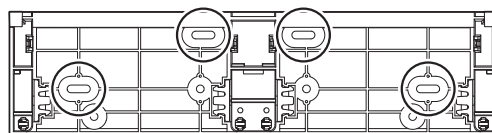


スペーサー
(紙巻器)
(2個)



紙切板

長穴4カ所を使って固定する



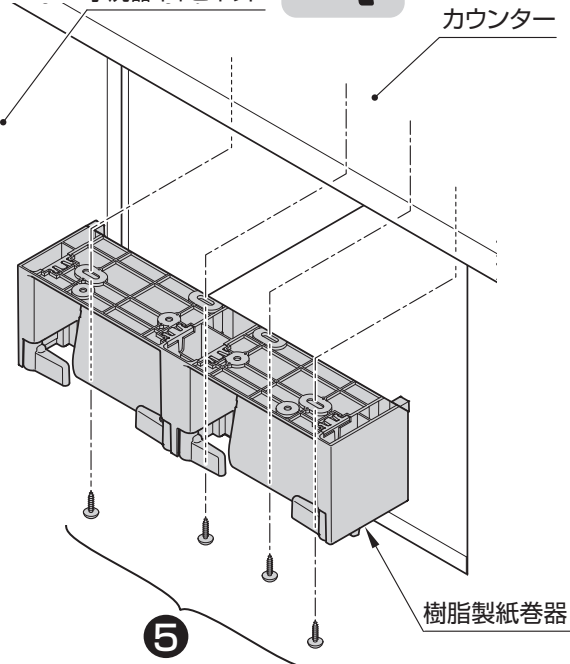
十字穴付トラスタッピンねじ
4×14(4本)

手締めで



手洗器キャビネット

カウンター



13

紙巻器

ビルトインリモコンありの場合

メタル製紙巻器の場合

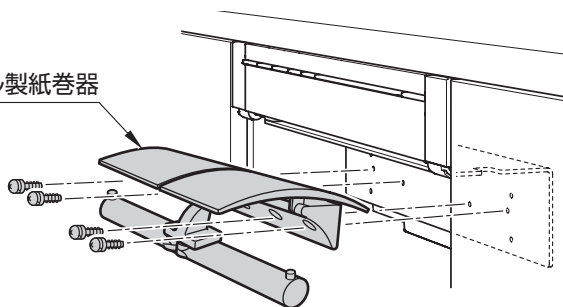


同梱の十字穴付なベタッピンねじ
4×40(4本)は使わない
ビルトインリモコンを破損するおそれがあります。

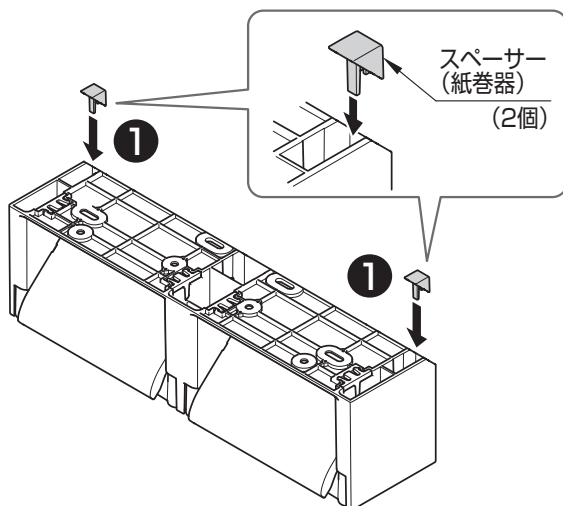


十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)

メタル製紙巻器



樹脂製紙巻器の場合



2

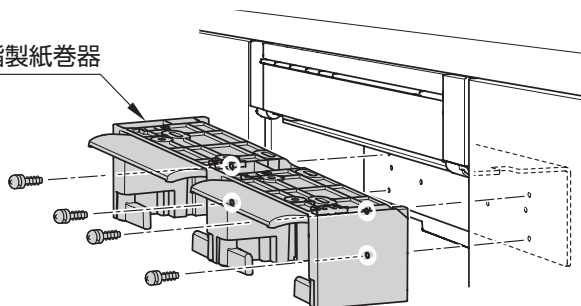


同梱の十字穴付トラスタッピンねじ
4×14(4本)は使わない
ビルトインリモコンを破損するおそれがあります。



十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×12(4本)

樹脂製紙巻器



MEMO

14. 試運転・確認

1 電気コンセントの確認

▶ P.91

2 やわらかライトの設定

▶ P.92

3 吐水の確認

▶ P.93

4 水漏れの確認

▶ P.94

5 フィルターの掃除

▶ P.95

6 キャビネットのすき間の確認

▶ P.95

7 前方サイドキャビネット・手洗器キャビネット扉の調整

▶ P.96

8 スライド扉の調整

▶ P.97

9 間口調整フィラー(固定)の調整

▶ P.99

1 電気コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

設置位置	設置機器				コンセント	プラグの差し込み位置	
	自動水栓・タッチレスウォール水栓	電気温水器	ビルトインリモコン	照明付化粧鏡		下側	上側
カウンター下	○	○	○	—			
	○	○	—	—			
	○	—	○	—			
	○	—	—	—			
	—	—	○	—			
化粧鏡裏	—	—	—	○			

ネオレスト、ウォシュレット アプリコット

やわらかライトありの場合

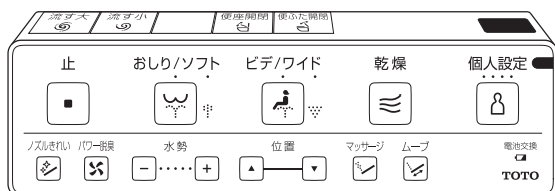
やわらかライトなしの場合・・・P.93 **3**へ

2 やわらかライトの設定

※ネオレスト、ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

※ビルトインリモコンの場合、設定不要です。

ネオレスト 標準リモコン・ウォシュレット アプリコットの場合



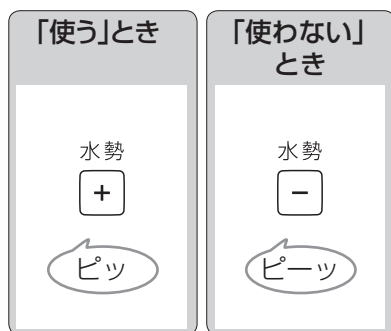
※ボタンのデザインは仕様により異なります。

- 1** 止 と 水勢 と +
- リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 確認

- 2** おしり/ソフト
- 押す

- 3** ビデ/ワイド
- 押す

- 4** 設定したい項目を選んでボタンを押す



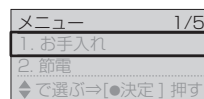
<設定完了>

※リモコンの形状が異なる場合は、ネオレスト、またはウォシュレットの取扱説明書を参照し、設定してください。

ネオレスト スティックリモコンの場合



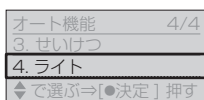
- 1** メニュー/戻る MENU/RETURN 押す
- ※リモコン裏面の作業となります。



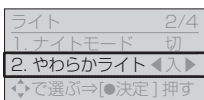
- 2** で「オート機能」を選ぶ
- 押す



- 3** で「ライト」を選ぶ
- 押す



- 4** で「やわらかライト」を選ぶ



- 5** で「入/切」を選ぶ



押す

やわらかライトを
切に設定しました

(戻るとき→ メニュー/戻る MENU/RETURN)

手洗器ありの場合

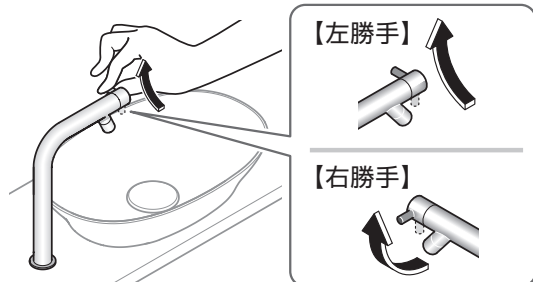
3 吐水の確認

参照 自動水栓・電気温水器の吐水確認：それぞれに同梱の施工説明書

ハンドル式水栓の場合

① 止水栓が閉まっていることを確認する

② ハンドルを全開にする



※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

！ 注意



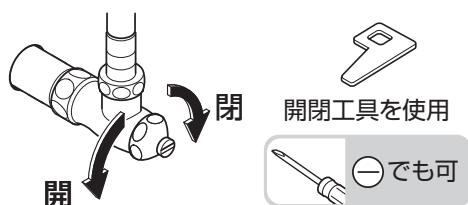
必ず守る

流量は必ず調整する

- ・流量が多いと使用時に水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・流量が少ないと複数箇所の同時吐水時に流量不足となる場合があります。

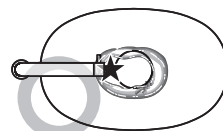
③ 適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける

水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して、流量を調整してください。



★ 水が当たる位置

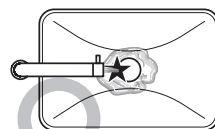
・ベッセルタイプ(丸形)の場合



流量が多い

流量が少ない

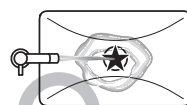
・ベッセルタイプ(角形)の場合



流量が多い

流量が少ない

・ボウル一体タイプの場合



流量が多い

流量が少ない

MEMO

タッチレスウォール水栓の場合

① 水を出す・止める

吐水口に手を近づけると水が出ます。



※図はベッセルタイプ(角形)の場合

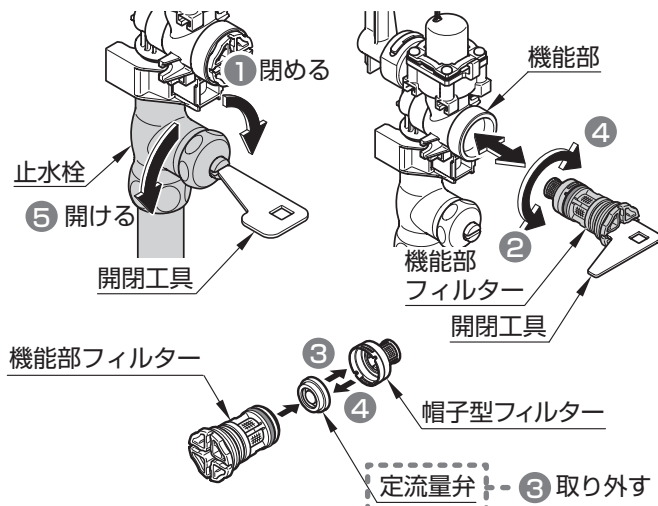
- ・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
 - ・設置後すぐは、エアがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めてください。
 - ・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
 - ・センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
- ※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。
- ※正常に動作しない場合は、**各コネクターが確実に接続されている**か確認してください。

② 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。**止水栓は全開**でご利用ください。ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。また、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

※図は床給水の場合です。

- ① 開閉工具で止水栓または元栓を確実に閉める
- ② 機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す
- ③ 帽子型フィルターを外し、定流量弁を取り外す
- ④ 機能部フィルターに帽子型フィルターを取り付け、機能部フィルターを奥まで確実に取り付ける
- ⑤ 止水栓および元栓を開け、止水栓で流量調節をする



手洗器ありの場合

4 水漏れの確認

※図は床給水、床排水の場合

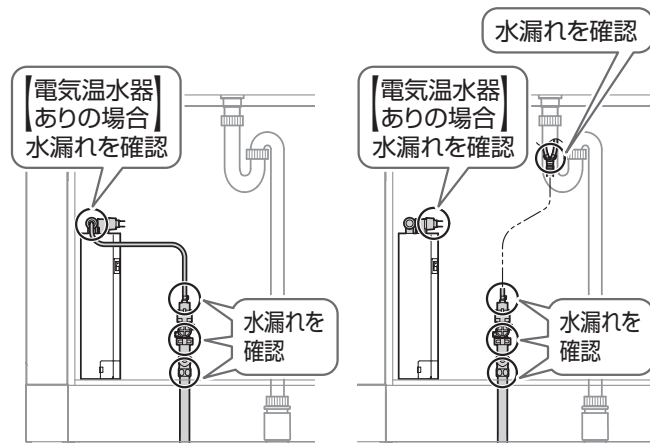
給水管の水漏れ確認

【ハンドル式水栓の場合】



【自動水栓の場合】

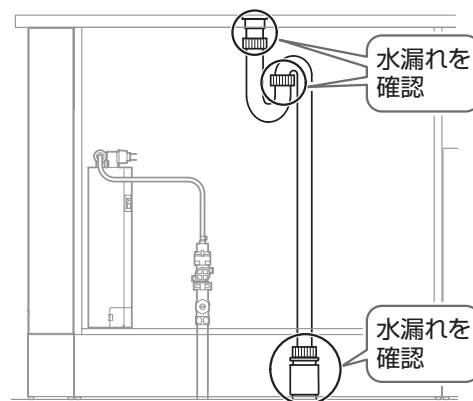
【タッチレスウォール水栓の場合】



※電気温水器が底板に載っている場合は底板の切り欠き部から水漏れを確認してください。

排水管の水漏れ確認

※図は電気温水器ありの場合



5 フィルターの掃除

自動水栓の場合

参照 フィルターの清掃：自動水栓の施工説明書

タッチレスウォール水栓の場合

取付後は必ずフィルターを掃除してください。

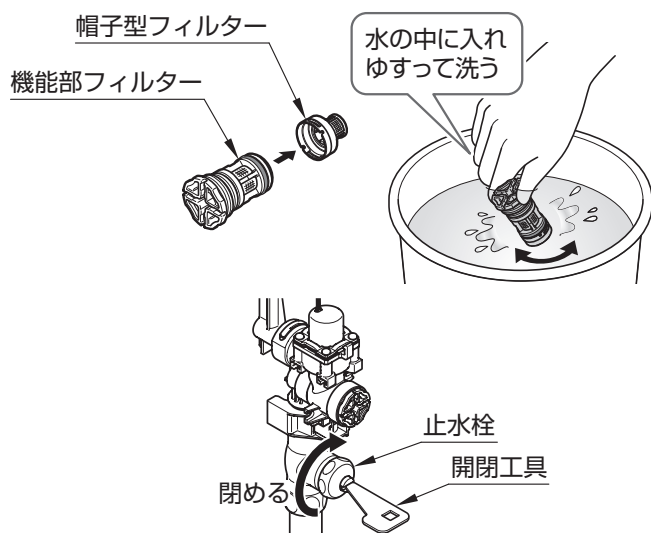
機能部フィルターの外しかたは **② 流量の調節** (P.94) を確認してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にも時々掃除していただくように説明してください。

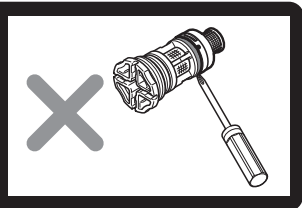
※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で

止水栓を閉めたあと、機能部フィルターを外してください。

※ゴミがフィルターの内側にたまります。
のぞきこんで確認してください。



機能部フィルターの分解時に
工具は使用しない



6 キャビネットのすき間の確認

すき間の調整は、

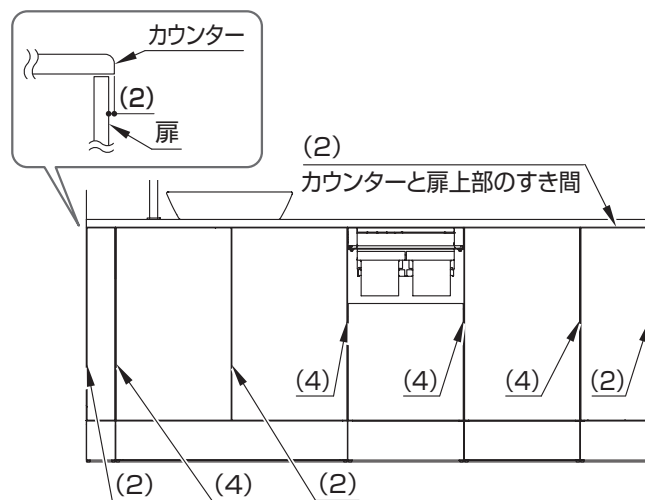
- ▶P.96「**7** 前方サイドキャビネット・手洗器キャビネット扉の調整」、
- ▶P.97「**8** スライド扉の調整」、
- ▶P.99「**9** 間口調整フィラー(固定)の調整」を参照

【間口調整フィラー(固定)がある場合】

間口調整フィラーを基準にして各扉を調整する。

【間口調整フィラー(固定)がない場合】

サイドキャビネットまたは手洗器キャビネットを基準にして各扉を調整する。



7

前方サイドキャビネット・
手洗器キャビネット扉の調整

動画を見る

扉の調整

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

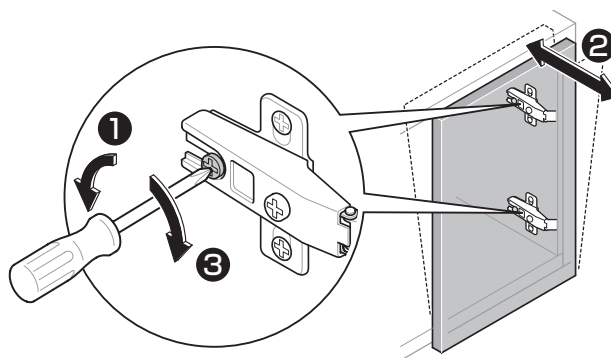


キャビネット扉の調整

前後を調整する場合（右開き）

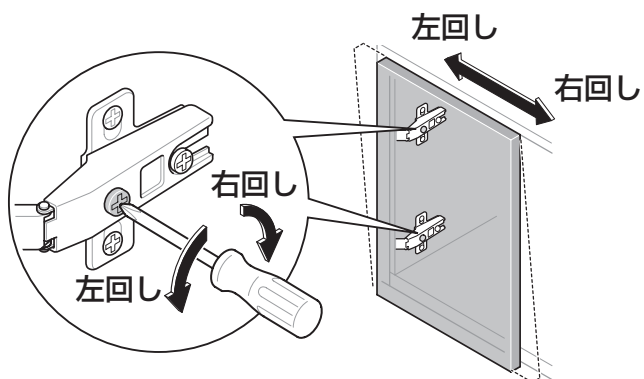
- ① ゆるめる（左回し）
- ② 扉を動かす
- ③ 締める（右回し）

※左開きも同様です。



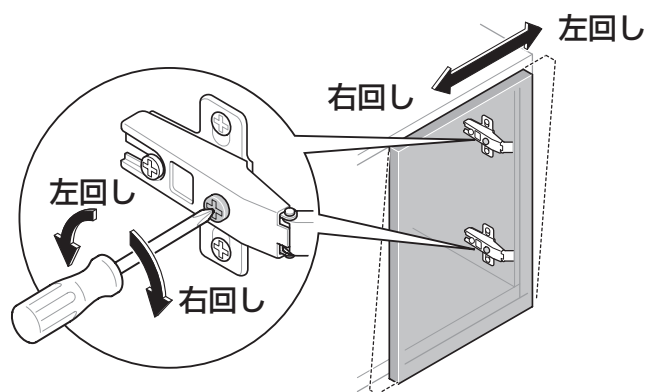
左右を調整する場合（左開き）

ねじを回すと、扉が動く



左右を調整する場合（右開き）

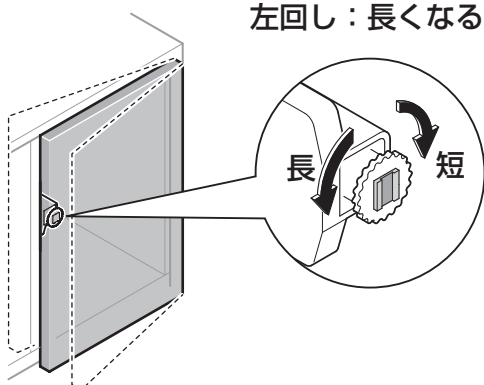
ねじを回すと、扉が動く



プッシュラッチの調整

前後を調整する場合

右回し：短くなる
左回し：長くなる



クッション材のはり付け

はり付け面は水ぶきし、乾燥後剥離紙をはがしはり付ける

扉を開けた時、壁などと当たる場合ははり付ける



「施工説明書」に同梱
クッション材

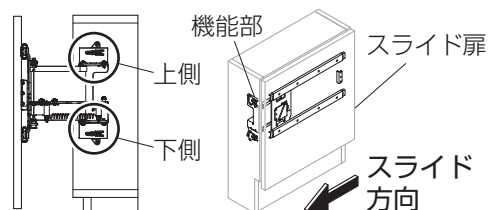
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

サイドキャビネットが付く場合

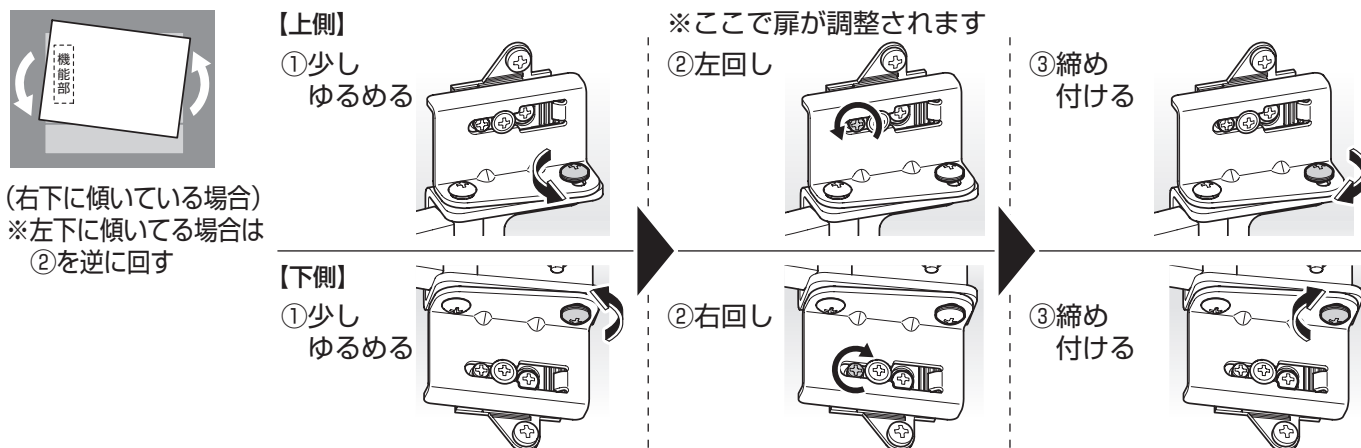
8 スライド扉の調整

※スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください(表紙参照)。

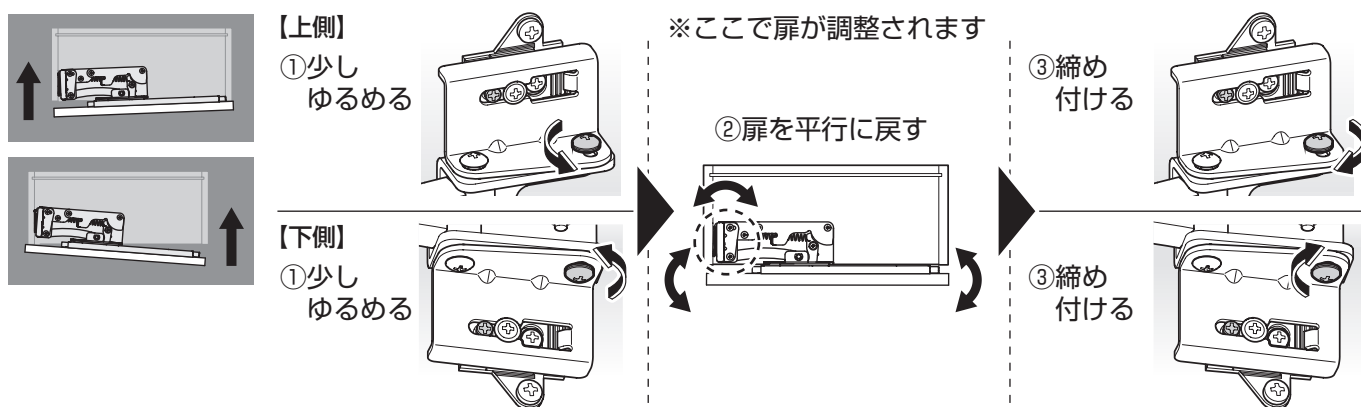
左スライド扉



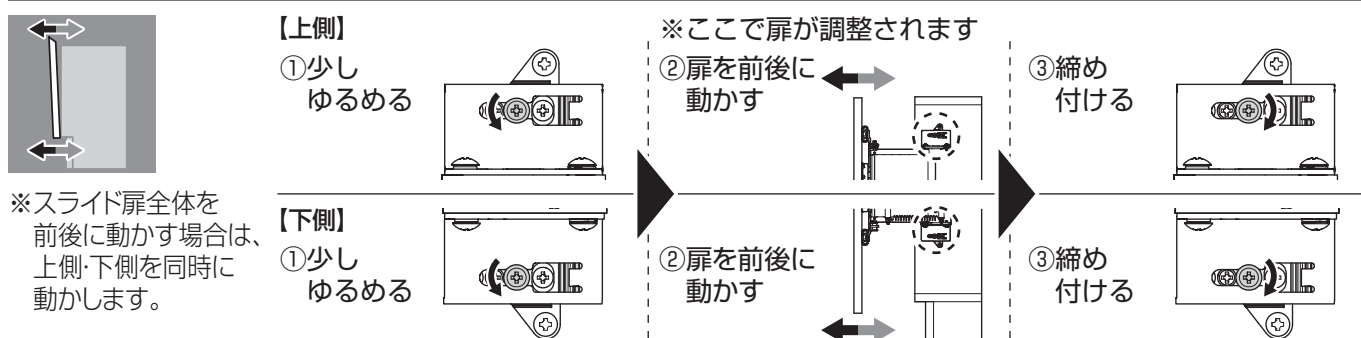
扉が傾いている場合



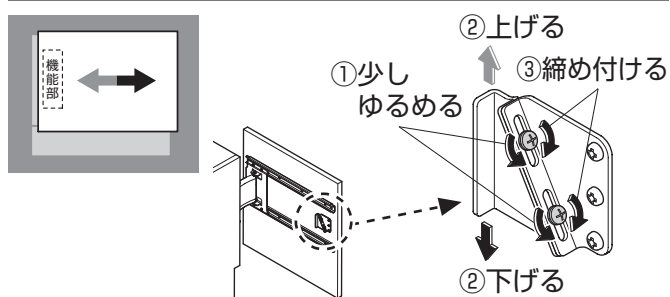
左右にすき間がある場合



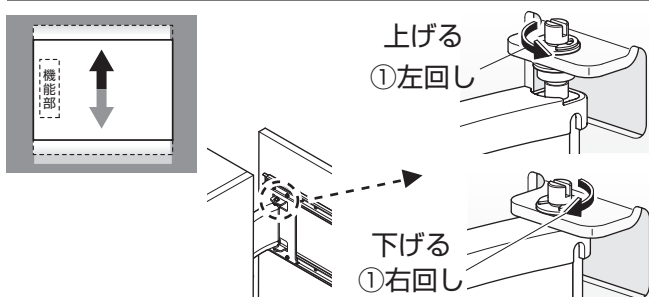
上下どちらかを前後に動かす場合



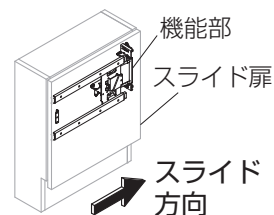
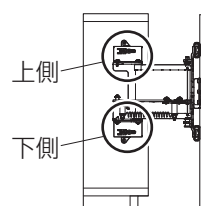
左右に動かす場合



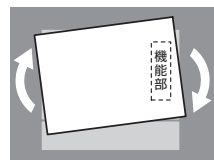
上下に動かす場合



右スライド扉

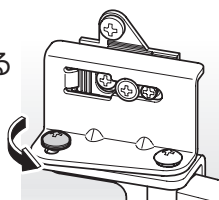


扉が傾いている場合



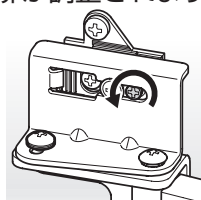
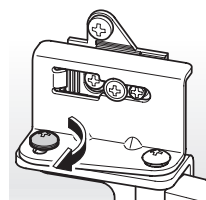
(左下に傾いている場合)
※右下に傾いている場合は
②を逆に回す

【上側】

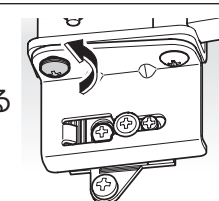
①少し
ゆるめる

※ここで扉が調整されます

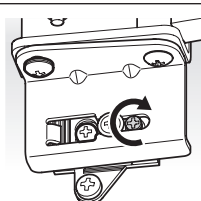
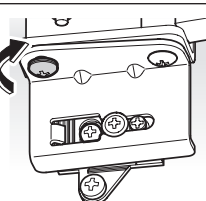
②左回し

③締め
付ける

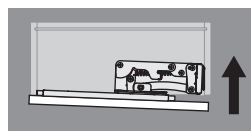
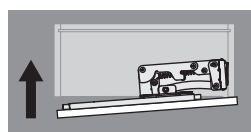
【下側】

①少し
ゆるめる

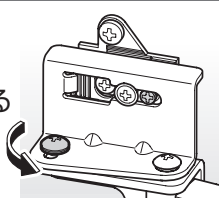
②右回し

③締め
付ける

左右にすき間がある場合

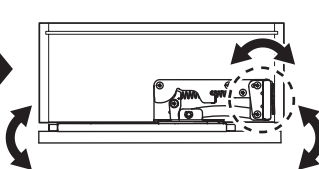
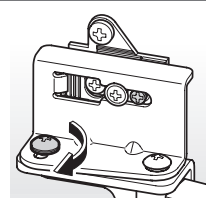


【上側】

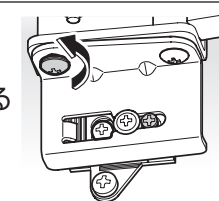
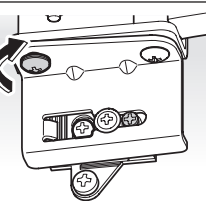
①少し
ゆるめる

※ここで扉が調整されます

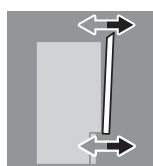
②扉を平行に戻す

③締め
付ける

【下側】

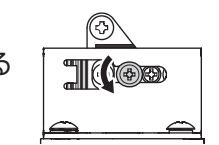
①少し
ゆるめる③締め
付ける

上下どちらかを前後に動かす場合

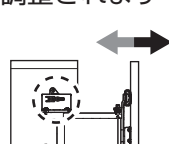
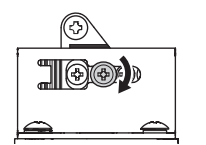


※スライド扉全体を
前後に動かす場合は、
上側・下側を同時に
動かします。

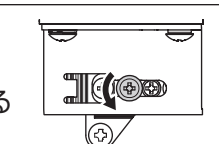
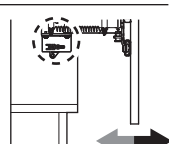
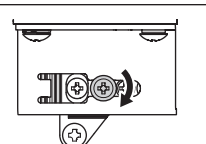
【上側】

①少し
ゆるめる

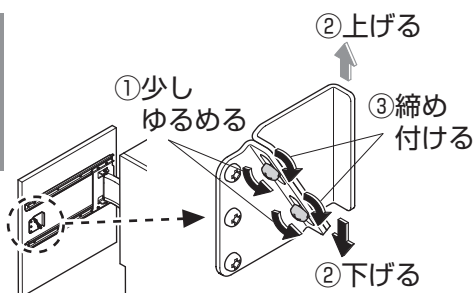
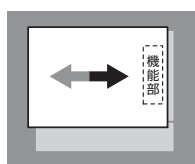
※ここで扉が調整されます

②扉を前後に
動かす③締め
付ける

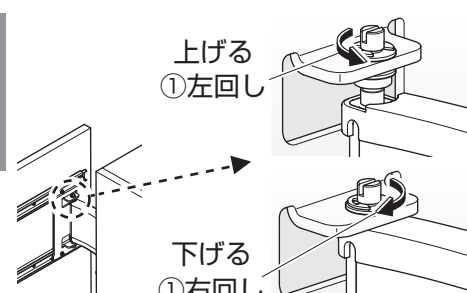
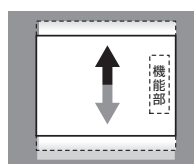
【下側】

①少し
ゆるめる②扉を前後に
動かす③締め
付ける

左右に動かす場合



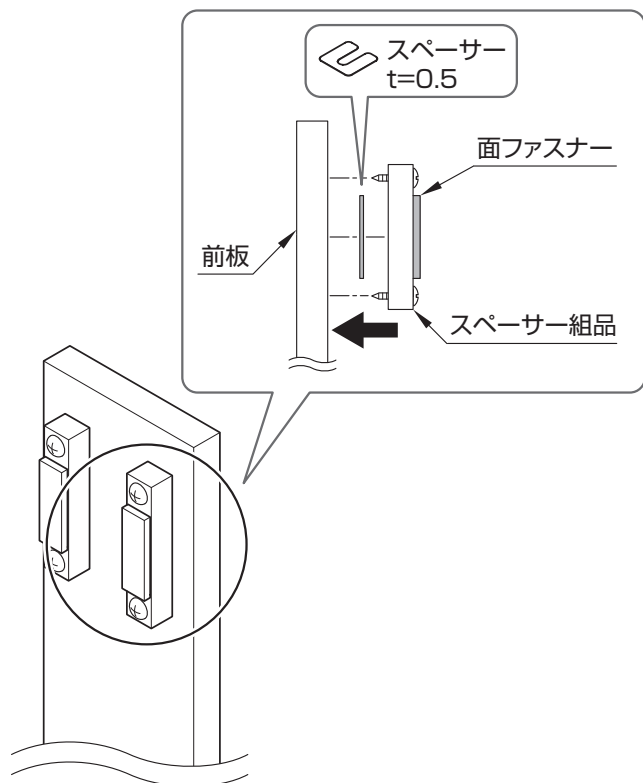
上下に動かす場合



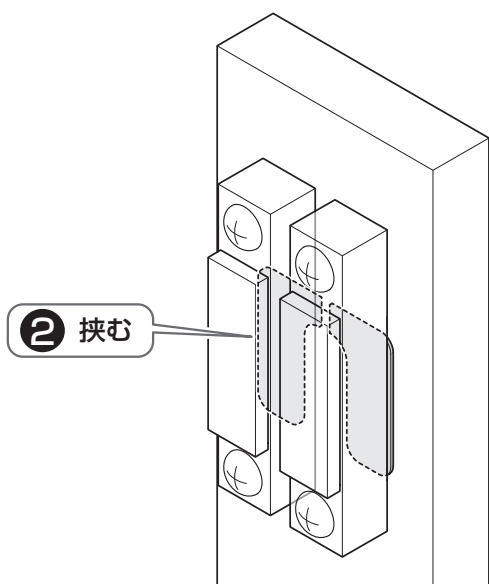
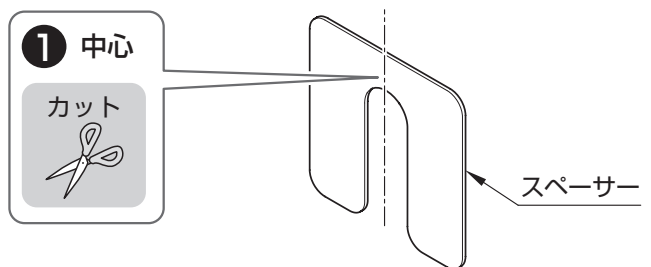
間口調整フィラー(固定)が付く場合

9 間口調整フィラー(固定)の調整

前板とスペーサー組品の間にスペーサーを挟み、前板の前後調整をする



前板の幅が狭い場合



MEMO

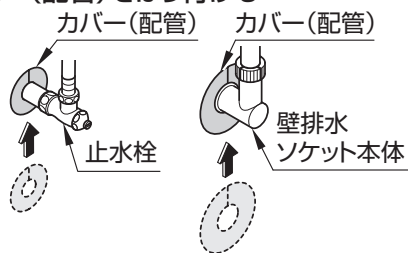
15.カバー(配管)

手洗器なしの場合はP.101へ

1 カバー(配管)の取り付け

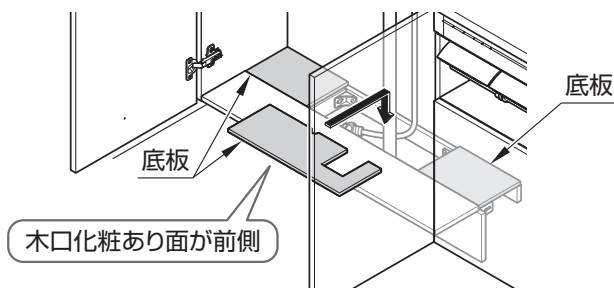
壁給水・壁排水の場合

- ① 背板と給水・排水接続部に剥離紙をはがし
カバー(配管)をはり付ける



床給水・床排水の場合

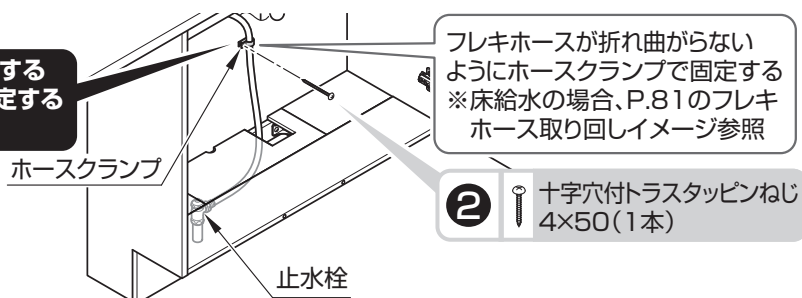
- ① 底板を置く



ハンドル式水栓	床・壁給水／床排水	壁給水／壁排水	—
自動水栓・タッチレスウォール水栓	壁給水／床排水	壁給水／壁排水	床給水／床排水
底板の形状	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ

ハンドル式水栓の場合

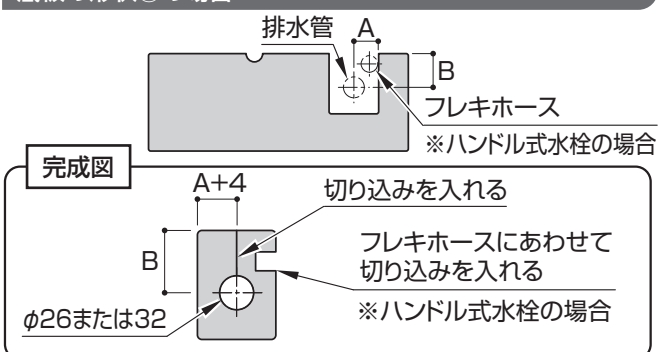
- ・ホースクランプ固定はねじ位置を背板側にする
- ・フレキホースと底板が干渉しないように固定する
底板が取り外しにくくなります。



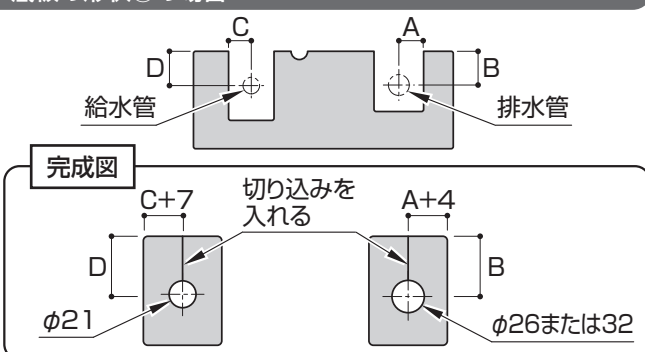
- ② 十字穴付トラスタッピンねじ
4×50(1本)

- ③ 底板の形状がⒶⒸの場合、給排水管位置を測り、カバー(配管)をカットする

底板の形状Ⓐの場合



底板の形状Ⓒの場合

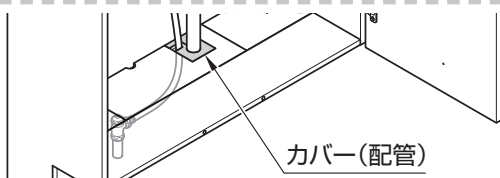


参考

排水管径:φ26、φ32(ベッセルタイプ(丸形)の場合)／給水管径(自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合):φ21／フレキホース径(ハンドル式水栓の場合):φ12

- ④ 底板にカバー(配管)の剥離紙をはがしてはり付ける

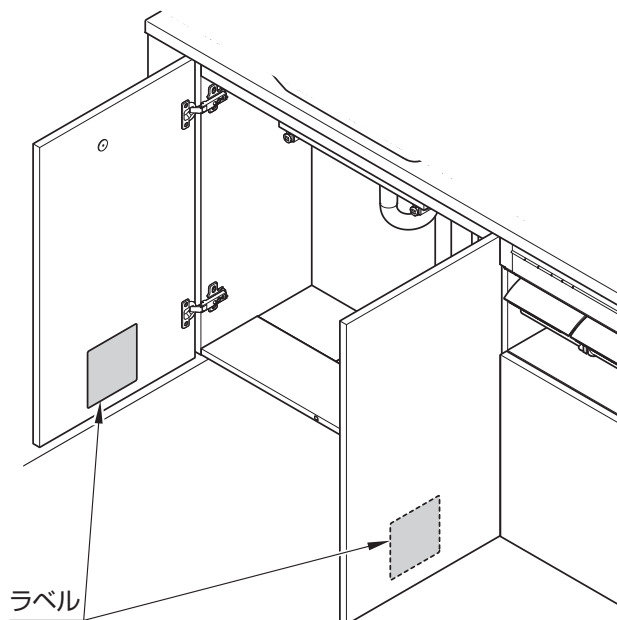
※電気温水器付きの場合は、底板内に水漏れがないことを確認してからカバー(配管)をはり付けてください



16.ラベル

1 ラベルのはり付け

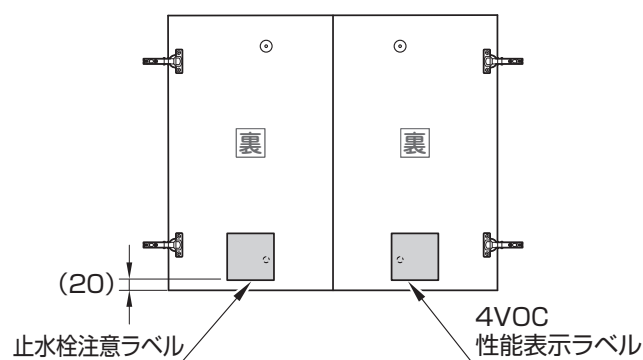
① 扉裏面にラベルをはり付ける



ラベルはり付け位置

図の位置（扉中央下部）にラベルをはり付ける

扉の穴を隠すようにラベルをはり付ける



MEMO

17.シリコン系シール材

1 シリコン系シール材の塗布

- ※ジョイントコークなどの水溶性のコークキングは使用しないでください。
- ※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)
- ※下記箇所以外にすき間が気になる場合はシリコン系シール材を塗布してください。

警告



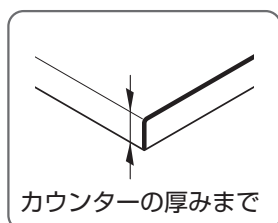
必ず守る

シリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実にを行う
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

【アクセントパネルなしの場合】※図はベッセルタイプ(角形)

カウンターと
壁とのすき間

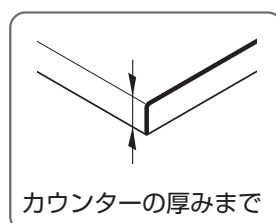
カウンターと
壁とのすき間



【アクセントパネルありの場合】※図はベッセルタイプ(角形)

カウンターと
壁とのすき間

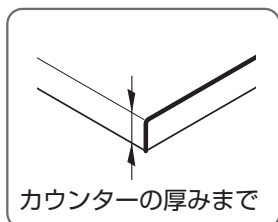
アクセントパネルと
壁とのすき間



【手洗器なし(アクセントパネルなし)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

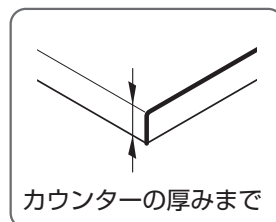
カウンターと
壁とのすき間



【手洗器なし(アクセントパネルあり)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

アクセントパネルと
壁とのすき間



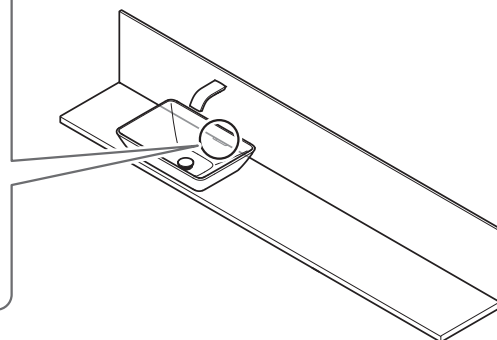
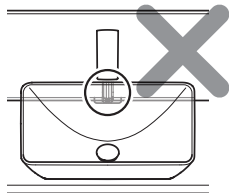
タッチレスウォール水栓の場合

注意



必ず守る

カウンター切り欠き部(タッチレスウォール水栓のホースとコードの箇所)にはシリコン系シール材を塗布しない
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



18. ビルトインリモコンの設定

必ず実施

組み合わせ設定

●下記の「組み合わせ設定」をしないと各機器が作動しません。

●照明付化粧鏡の取付有無によって、
組み合わせ設定 **A** または **B** を選択してください。

キャビネット施工時に
照明付化粧鏡を取り付けていない

キャビネット施工時に
照明付化粧鏡を取り付けた

B 次ページ参照

A

●本書の「ビルトインリモコン」の施工を完了してから行ってください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

① ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

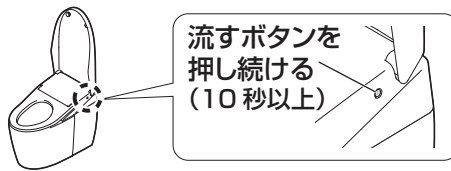
ネオレストNXの場合

② 便座右上の流すボタン
を押す続ける (10秒以上)

ネオレストLS・ASの場合

② 流すボタンを押す続ける
(10秒以上)

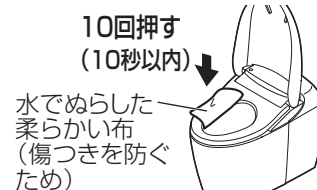
・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約 10 秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。(1 回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



ネオレストRSの場合

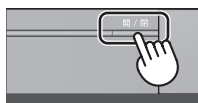
② 便座の左側を手で
10秒以内に10回押す

・「ピッ」という電子音が鳴ります。

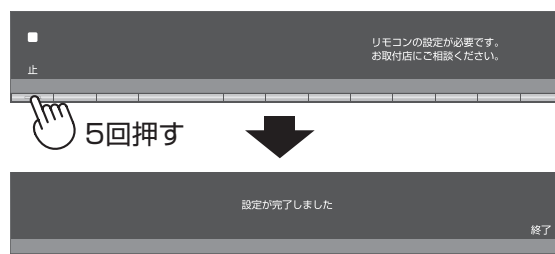


ウォシュレット本体が設定状態に入ります。
※設定状態は約2分です。時間内にすべての設定を完了させてください。

③ ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



④ **止** を5回押す



設定完了

「設定が完了しました」と表示されない場合は、組み合わせ設定が完了していません。
手順**②** からやり直してください。

⑤ **終了** を押す

画面にボタンが表示されます



(図はネオレストNX)

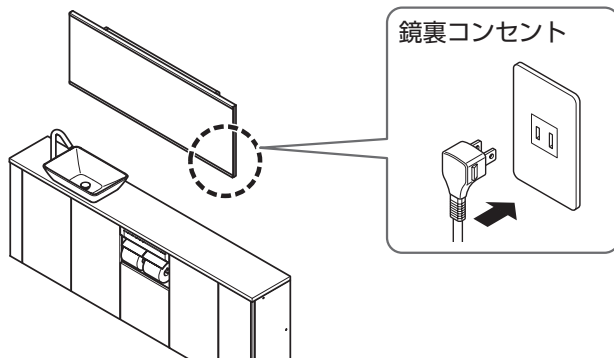
B

●本書の「ビルトインリモコン」の施工および「照明付化粧鏡(オプション)」の施工までを完了してから行ってください。

参照 照明付化粧鏡の取り付け: 照明付化粧鏡に同梱の施工説明書

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

1 下図の電源プラグを差し込む

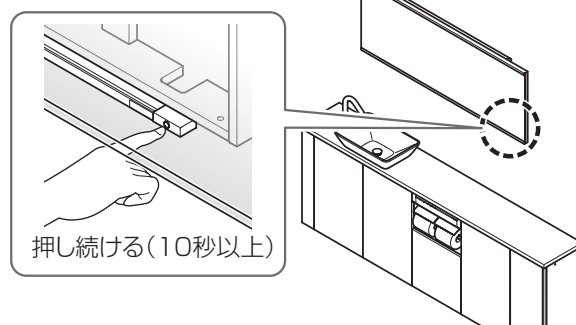


作業後に組み合わせ設定をやり直したい場合は、
次ページの**組み合わせ設定の初期化**を行い、
もう一度設定してください。

2 照明付化粧鏡の内側にあるペアリングスイッチを10秒以上押す

●設定状態に入り、照明付化粧鏡が1秒おきに点滅します。

※設定状態は約5分です。
時間内に、すべての設定を完了させてください。



3 ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

ネオレストNXの場合

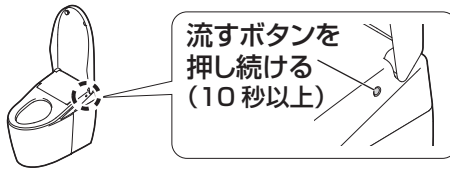
4 便座右上の流すボタン^⑥
を押し続ける(10秒以上)

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



ネオレストLS・ASの場合

4 流すボタンを押し続ける
(10秒以上)



ネオレストRSの場合

4 便座の左側を手で
10秒以内に10回押す

・「ピッ」という電子音が鳴ります。

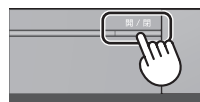
10回押す
(10秒以内)

水でぬらした
柔らかい布
(傷つきを防ぐ
ため)



※ウォシュレットの設定状態は約2分です。

5 ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



⑥ 止 を5回押す



5回押す

確認（各項目を確認後、□に✓してください）

□リモコン画面に「設定が完了しました」と表示されましたか



「はい」

「いいえ」

手順②から
やり直してください。

□照明付化粧鏡が0.5秒おきに点滅し、約10秒後に点滅が終わりましたか

□ 終了 → 設定 → 次ページへ を押す

→リモコン画面に「照明」が表示されましたか



すべて「はい」

手順⑦へ

1つでも「いいえ」

下記の **組み合わせ設定の初期化** を行い、
手順②からやり直してください。

⑦ 終了 を押す

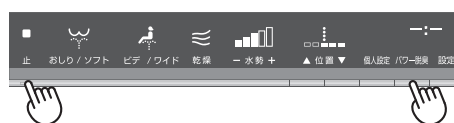


（図はネオレストNX）

⑧ 「19.照明付化粧鏡」の動作確認を行う

組み合わせ設定の初期化

止 と パワー脱臭
同時に10秒以上押す



初期画面に
戻ります

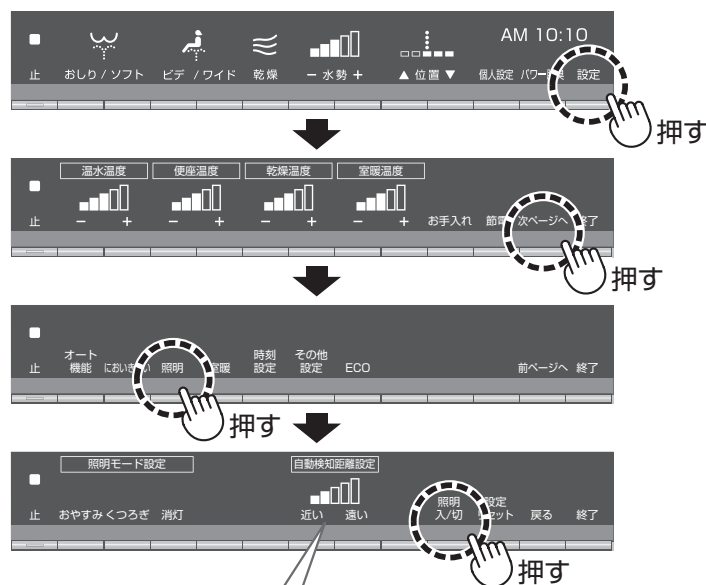
- 「組み合わせ設定」と「19.照明付化粧鏡」の動作確認が終わりましたら、
ウォシュレット・ネオレスト施工説明書の「洗浄水量の切り替え」より、引き続き作業を行ってください。

19. 照明付化粧鏡

1 照明の動作確認

ビルトインリモコンと組み合わせ時はウォシュレットのやわらかライトは点灯しません

- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入る
- ・「照明入/切」により照明付化粧鏡が動作（点灯/消灯）することを確認する
※最後は必ず「照明点灯」の状態にすること



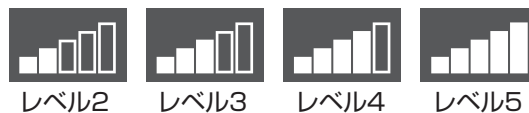
2 自動検知距離設定

- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入り、「自動検知距離設定」によりトイレブースの奥行寸法にあわせて設定する
- ・右表のように、設置するネオレストの種類と奥行寸法からなる設定レベル（目安）を設定する
- ・設定後、トイレドアを開けて入室して一歩以内で照明付化粧鏡が点灯することを確認する（確認は、トイレ外に出てトイレドアを閉め、180秒以上経過したのちの入室で実施）
- ・入室して一歩以上進まないで照明付化粧鏡が点灯しない場合は、設定レベルを上げる（例えば、レベル3をレベル4にする。最大はレベル5）

設置するネオレストの機種によりレベル設定値が異なる

レベル設定値（目安）	ネオレスト	
	NX	LS・AS
奥行寸法		
1600mm以上1700mm未満	2	3
1700mm以上1900mm未満	3	4
1900mm以上	4または5	5

レベル設定値の画面表示



レベル2

レベル3

レベル4

レベル5

MEMO

